

決算説明会

2023年3月期

ミネベアミツミ株式会社

2023年5月11日

1. 業績の説明

2. 経営方針と事業戦略

業績の説明

取締役 社長執行役員 COO & CFO
吉田 勝彦

通期連結業績サマリー

売上高、営業利益等、すべて過去最高
(売上高は11期連続増収、営業利益は2期連続増益)

(百万円)	2022年3月期	2023年3月期	前年比 伸び率	2023年3月期計画 (2023年2月修正)	
	通期	通期		通期	達成率
売上高	1,124,140	1,292,203	+15.0%	1,300,000	99.4%
営業利益	92,136	101,522	+10.2%	100,000	101.5%
税引前利益	90,788	96,120	+5.9%	95,000	101.2%
親会社の所有者に帰属する 当期利益	68,935	77,010	+11.7%	71,000	108.5%
基本的1株当たり 当期利益 (円)	170.08	187.62	+10.3%	172.76	108.6%

為替レート	2022年3月期 通期	2023年3月期 通期
US\$	111.55円	134.19円
ユーロ	130.47円	139.90円
タイバーツ	3.44円	3.82円
人民元	17.35円	19.68円

4Q連結業績サマリー

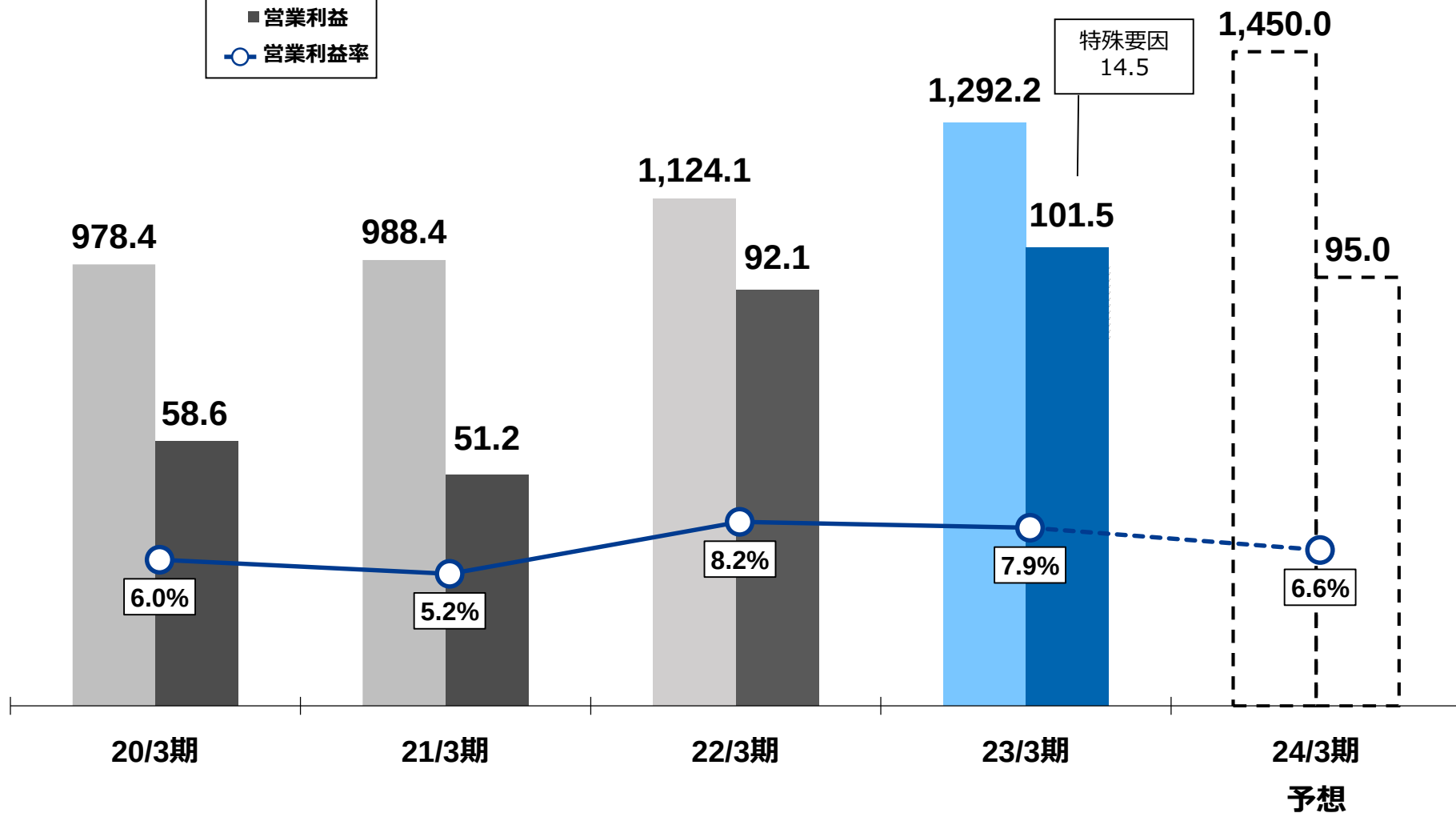
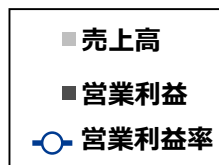
売上高は第4四半期として過去最高
営業利益は四半期として過去最高

(百万円)	2022年3月期	2023年3月期		前年同期比 伸び率	前四半期比 伸び率
	4Q	3Q	4Q		
売上高	289,532	371,424	339,718	+17.3%	-8.5%
営業利益	21,671	26,432	34,441	+58.9%	+30.3%
税引前利益	21,347	20,463	33,199	+55.5%	+62.2%
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	15,488	13,148	33,068	2.1倍	2.5倍
基本的1株当たり 四半期利益 (円)	38.20	31.87	80.57	2.1倍	2.5倍

為替レート	2022年3月期 4Q	2023年3月期 3Q	2023年3月期 4Q
US\$	114.65円	144.25円	132.73円
ユーロ	129.77円	143.93円	141.94円
タイバーツ	3.46円	3.89円	3.91円
人民元	18.03円	20.22円	19.32円

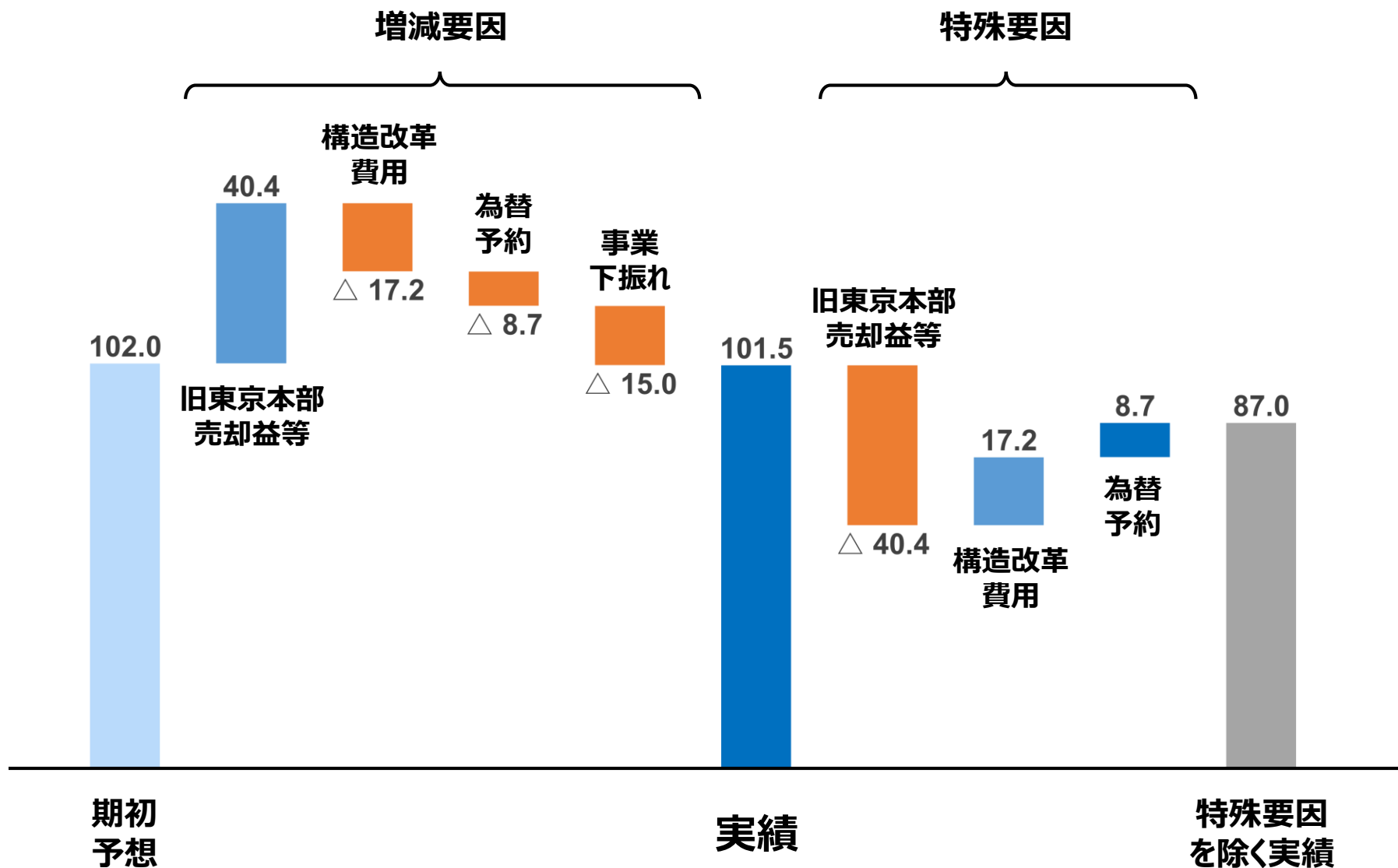
売上高、営業利益、営業利益率

(10億円)



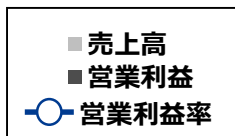
通期営業利益 増減要因と特殊要因

(10億円)



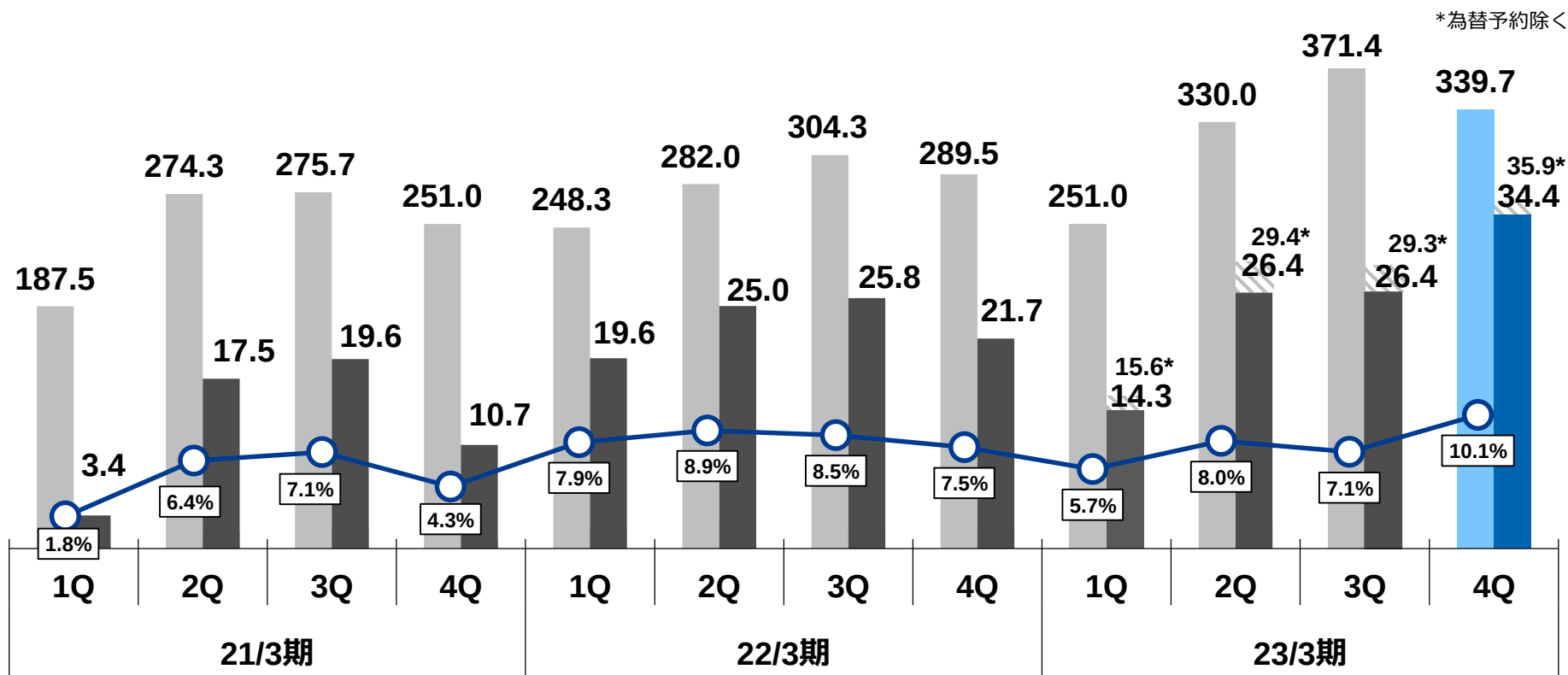
売上高、営業利益、営業利益率

(10億円)



特殊要因

	1Q	2Q	3Q	4Q	通期
為替予約	△1.3	△3.0	△2.9	△1.5	△8.7
その他	-	-	1.7	21.5	23.2
合計	△1.3	△3.0	△1.3	20.0	14.5



セグメント名称変更によるわかりやすさの改善

名実一体化により、企業価値の向上へ

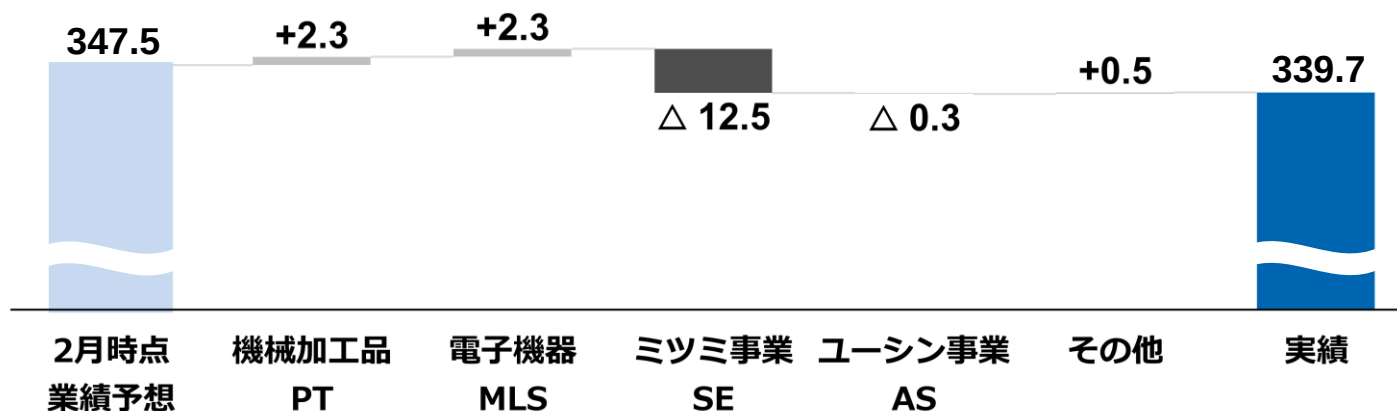
セグメント名（旧）	セグメント名（新）	略称
機械加工品	プレシジョンテクノロジーズ	PT
電子機器	モーター・ライティング&センシング	MLS
ミツミ事業	セミコンダクタ&エレクトロニクス	SE
ユーシン事業	アクセスソリューションズ	AS

※各セグメントの事業内容には変更なし

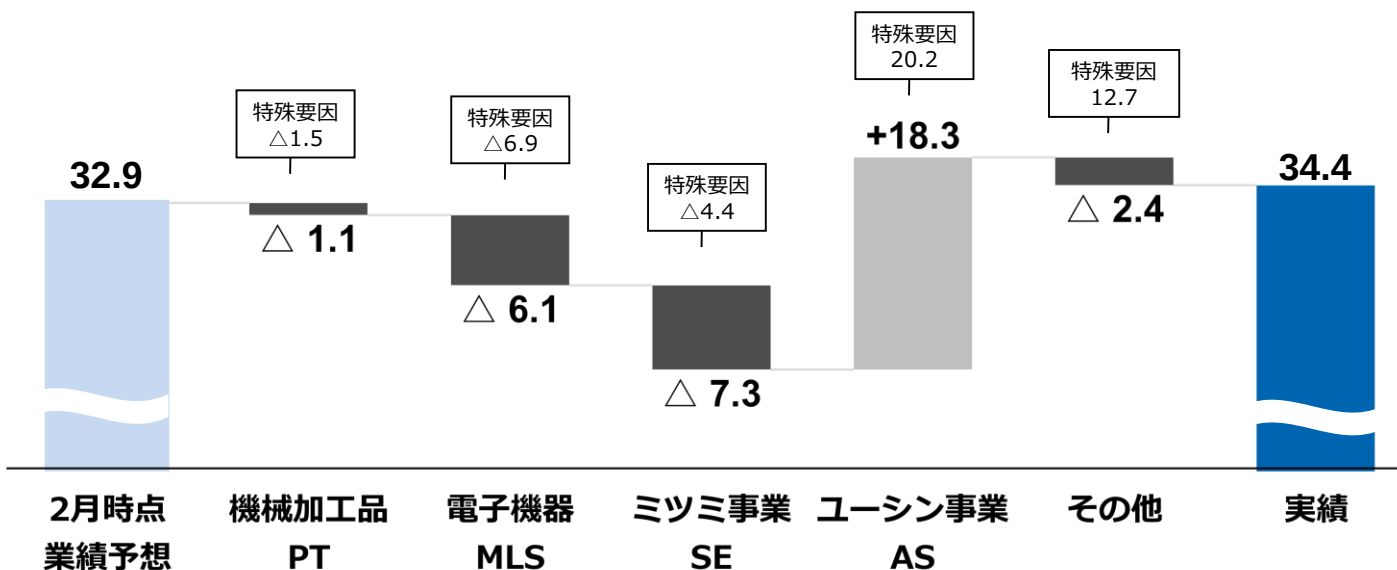
4Q実績 2月時点業績予想からの差異

(10億円)

売上高

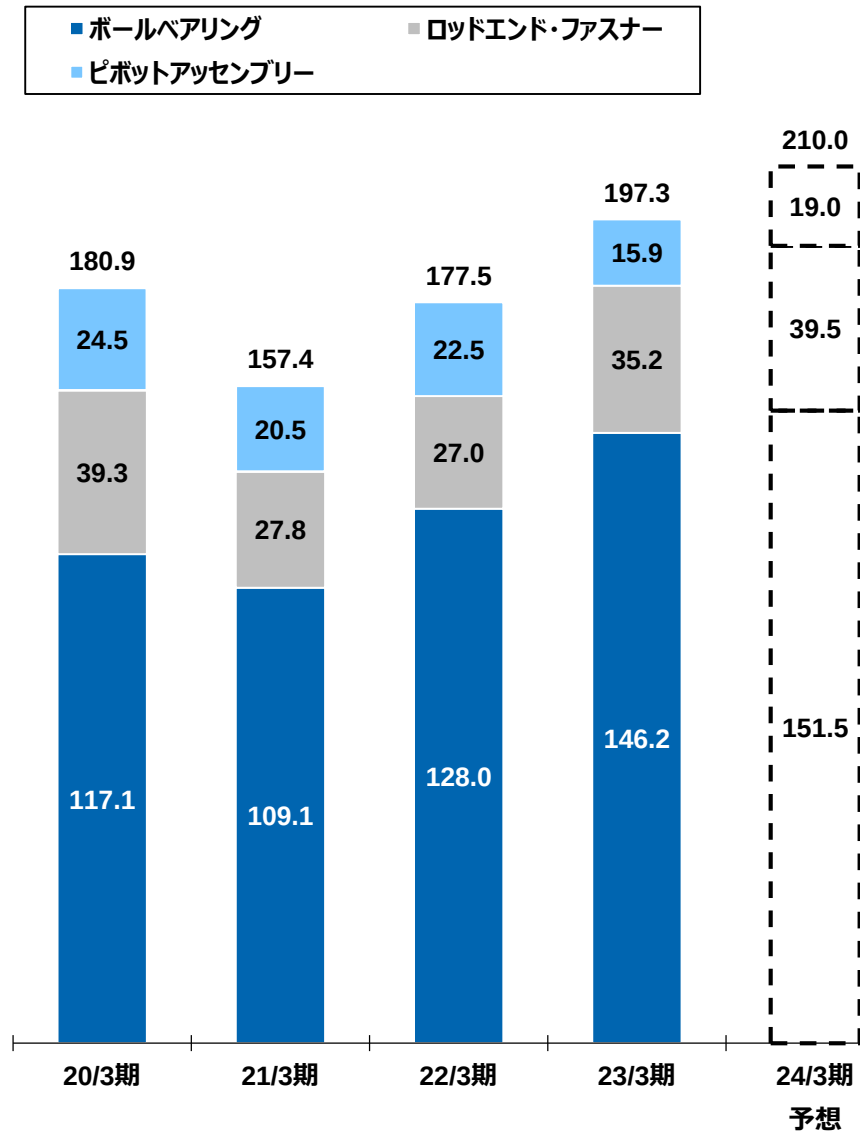


営業利益

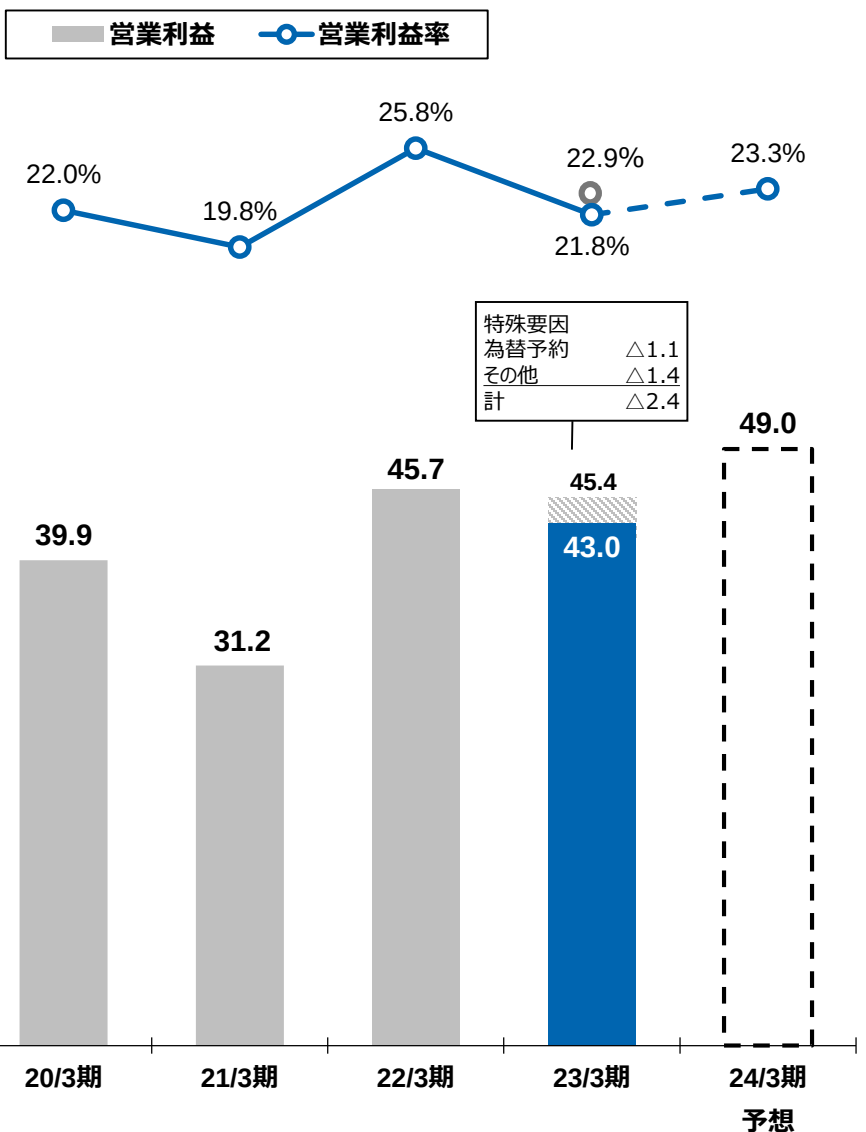


機械加工品/プレジジョンテクノロジーズ セグメント (PT)

売上高 (10億円)

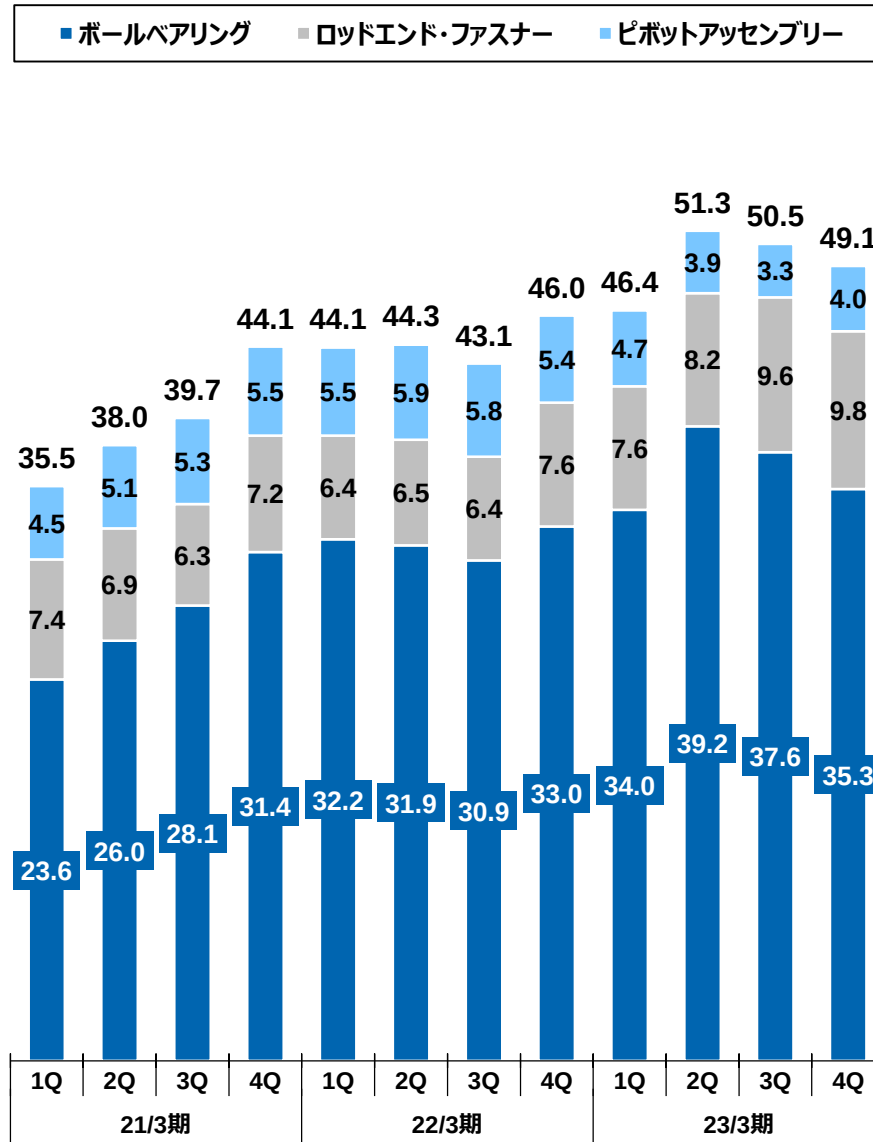


営業利益 (10億円)

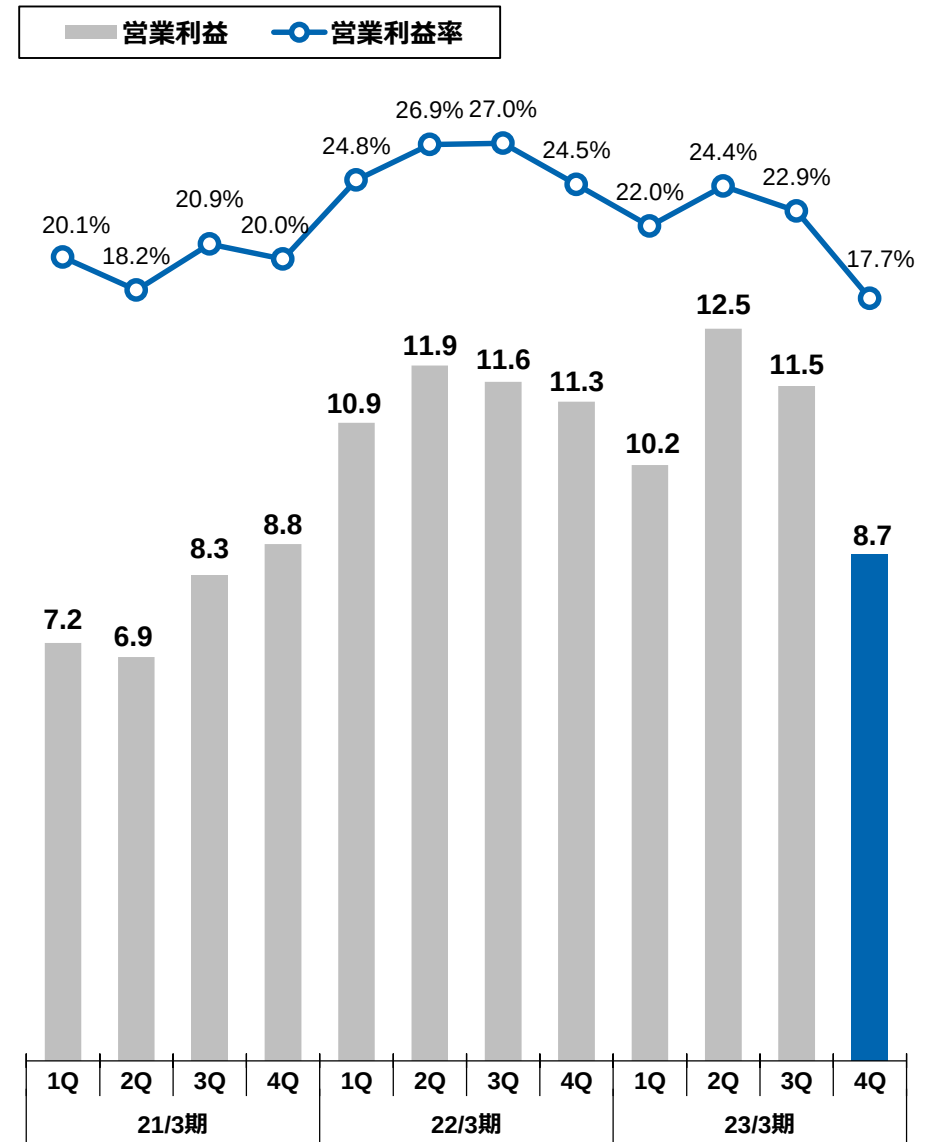


機械加工品/プレジジョンテクノロジーズ セグメント (PT)

売上高 (10億円)

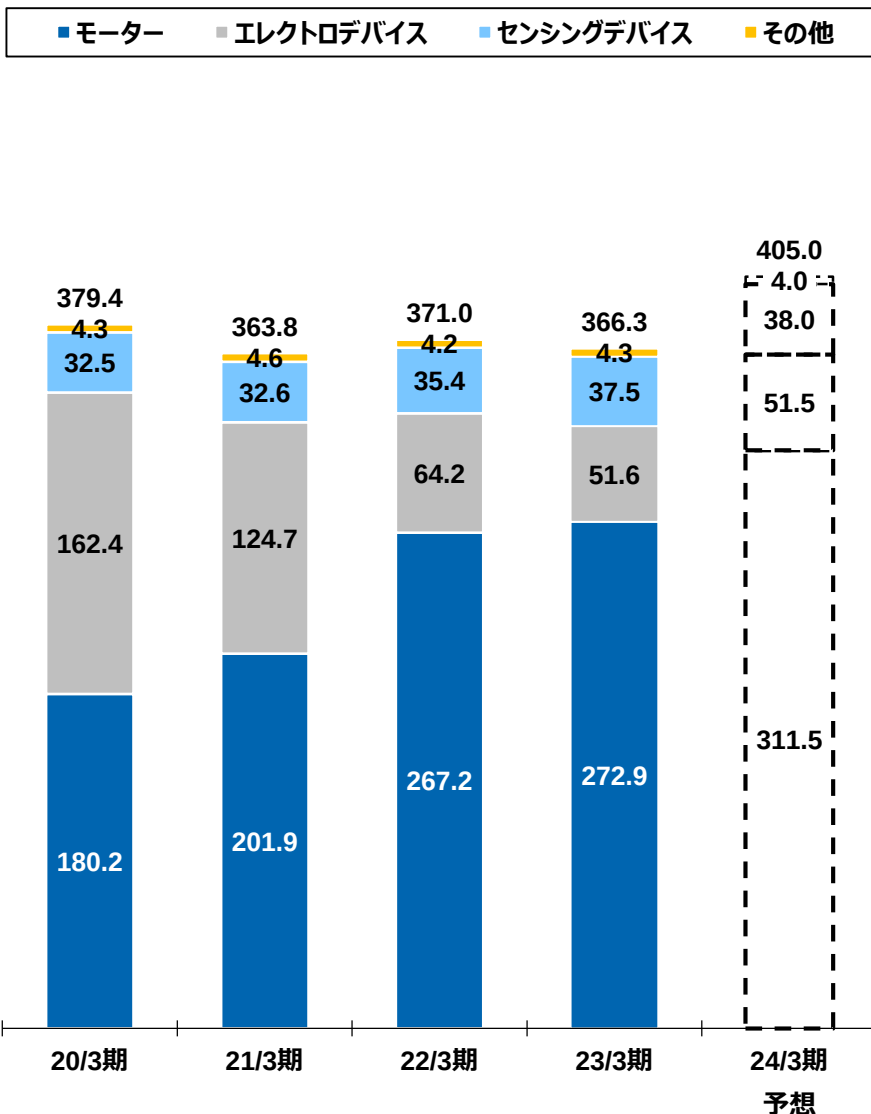


営業利益 (10億円)

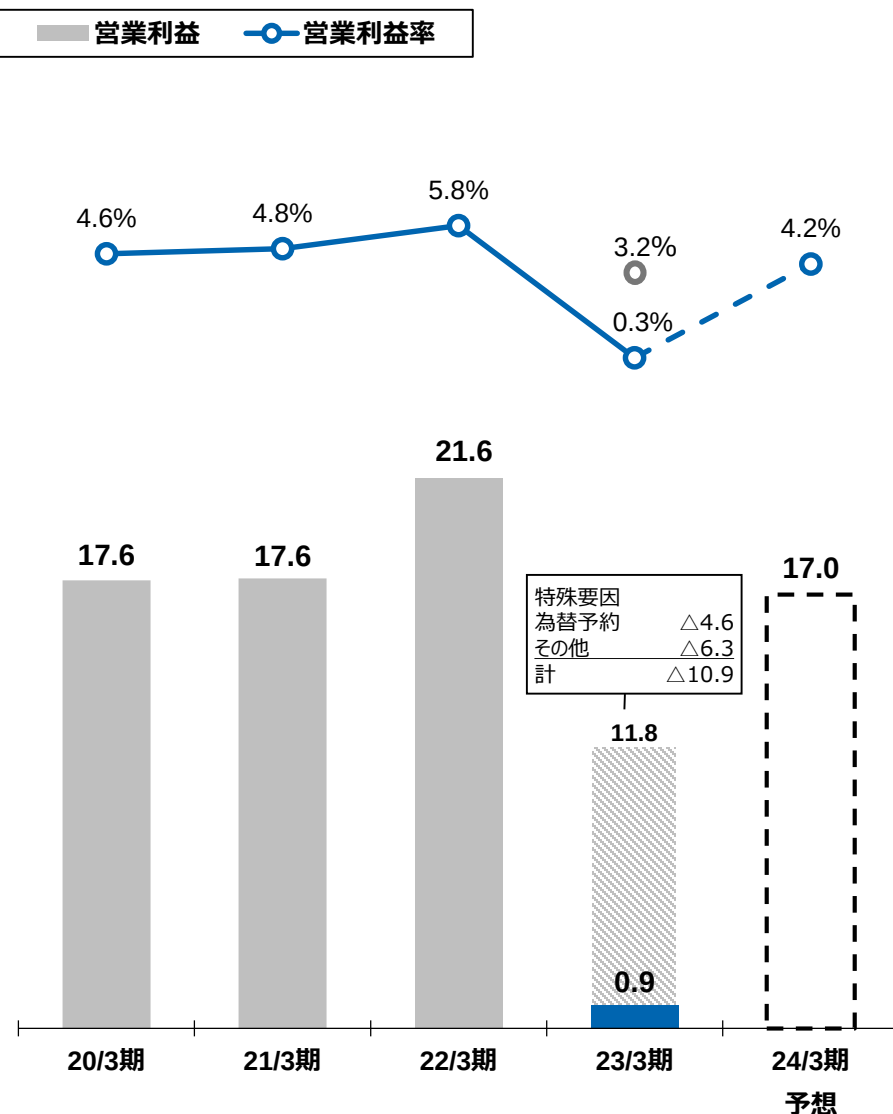


電子機器/モーター・ライティング&センシング セグメント (MLS)

売上高 (10億円)

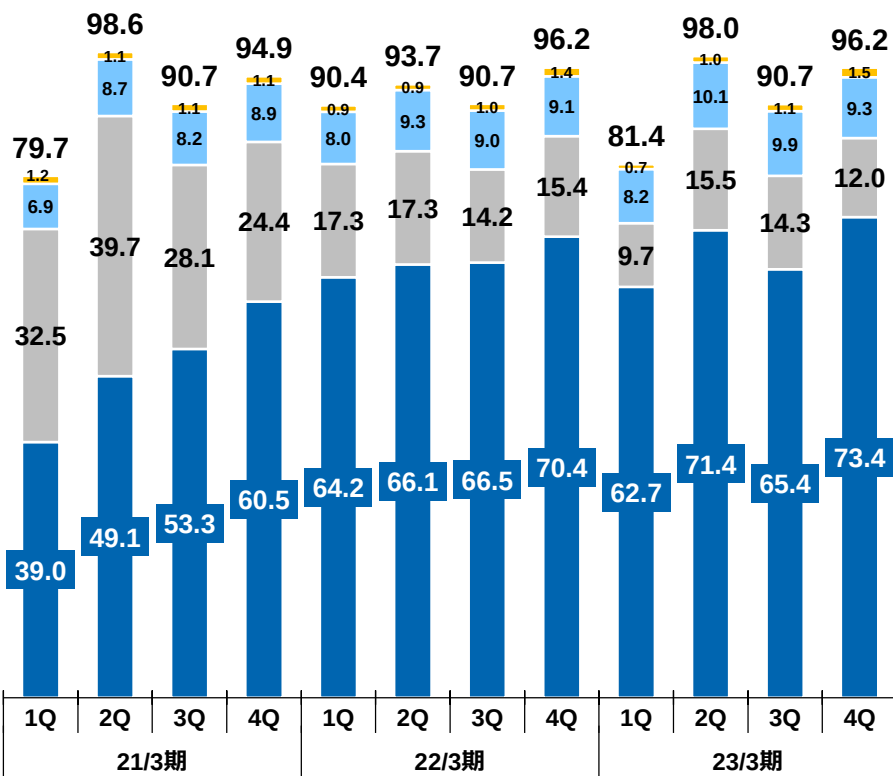
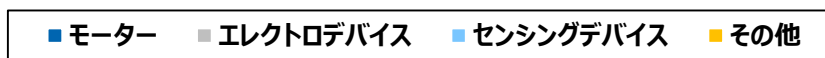


営業利益 (10億円)

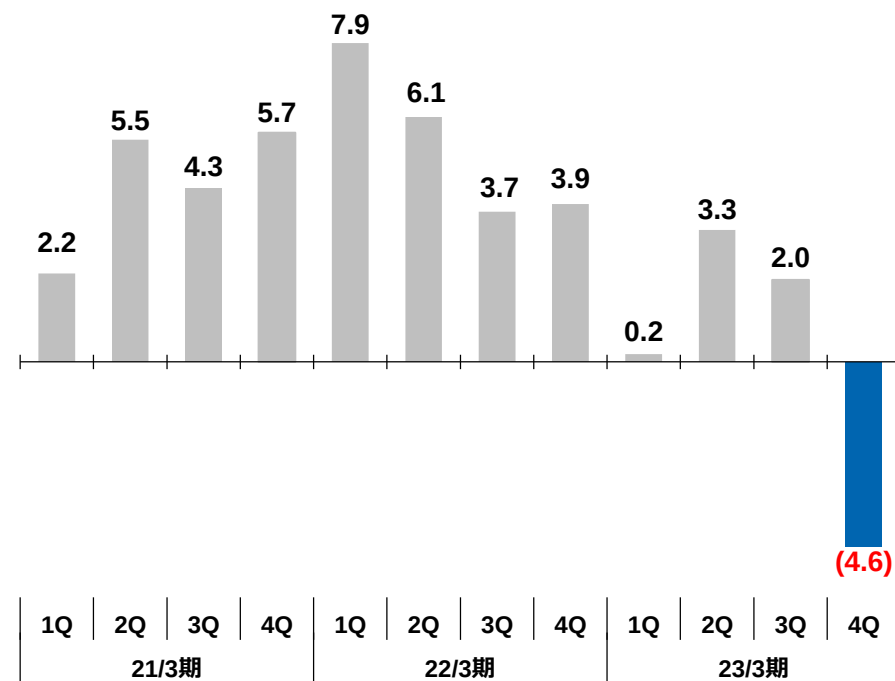
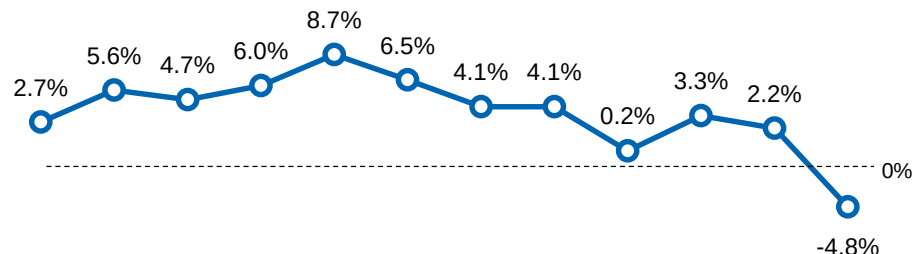


電子機器/モーター・ライティング&センシング セグメント (MLS)

売上高 (10億円)

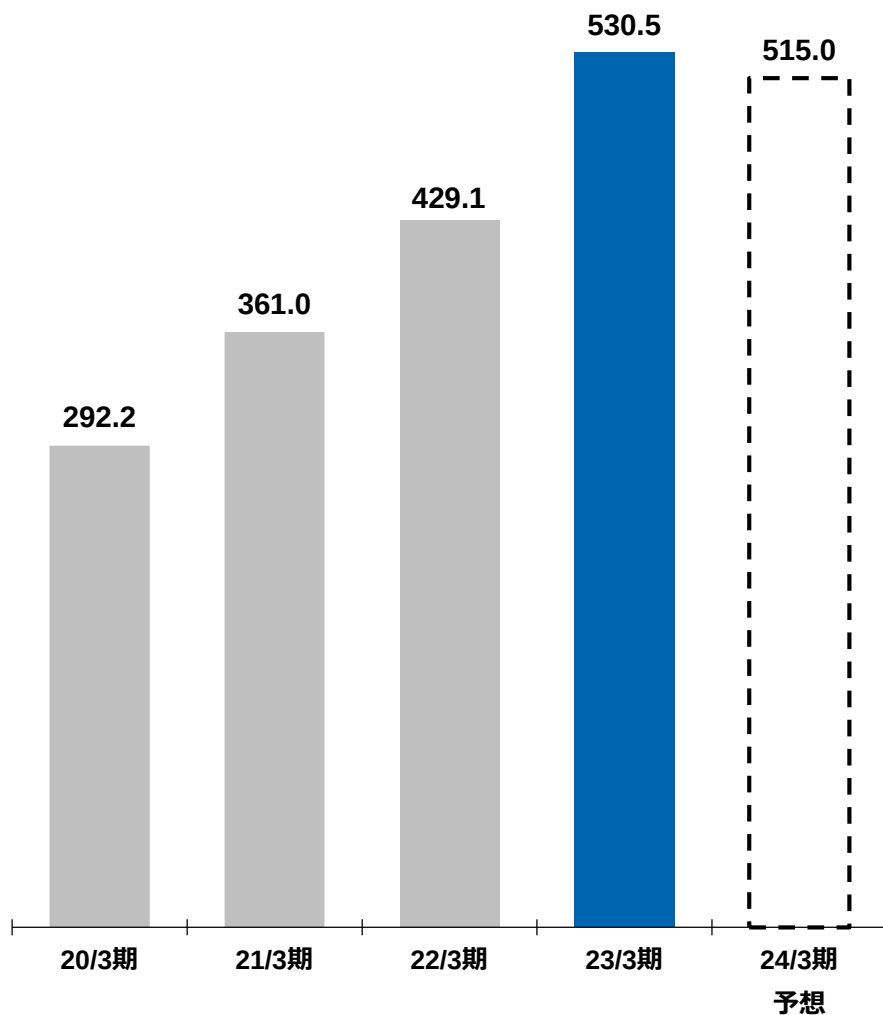


営業利益 (10億円)

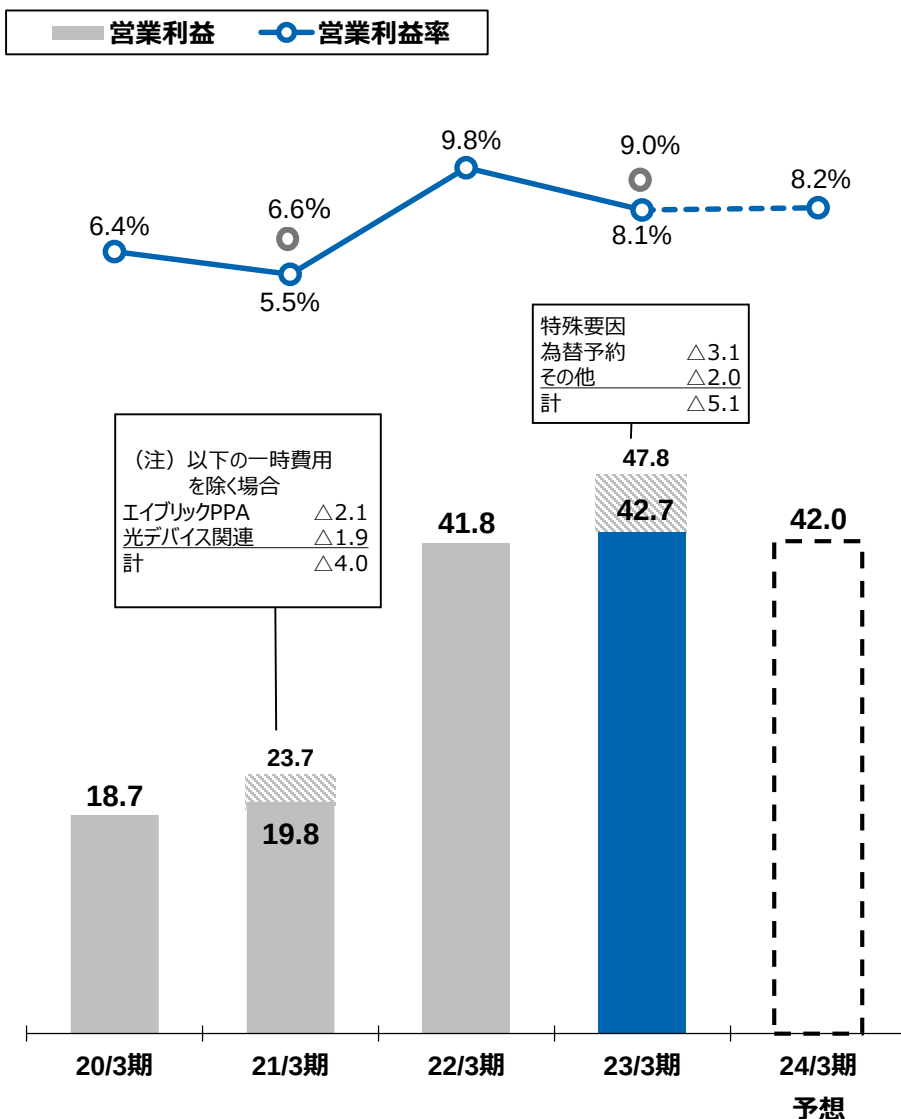


ミツミ事業/セミコンダクタ&エレクトロニクス セグメント (SE)

売上高 (10億円)

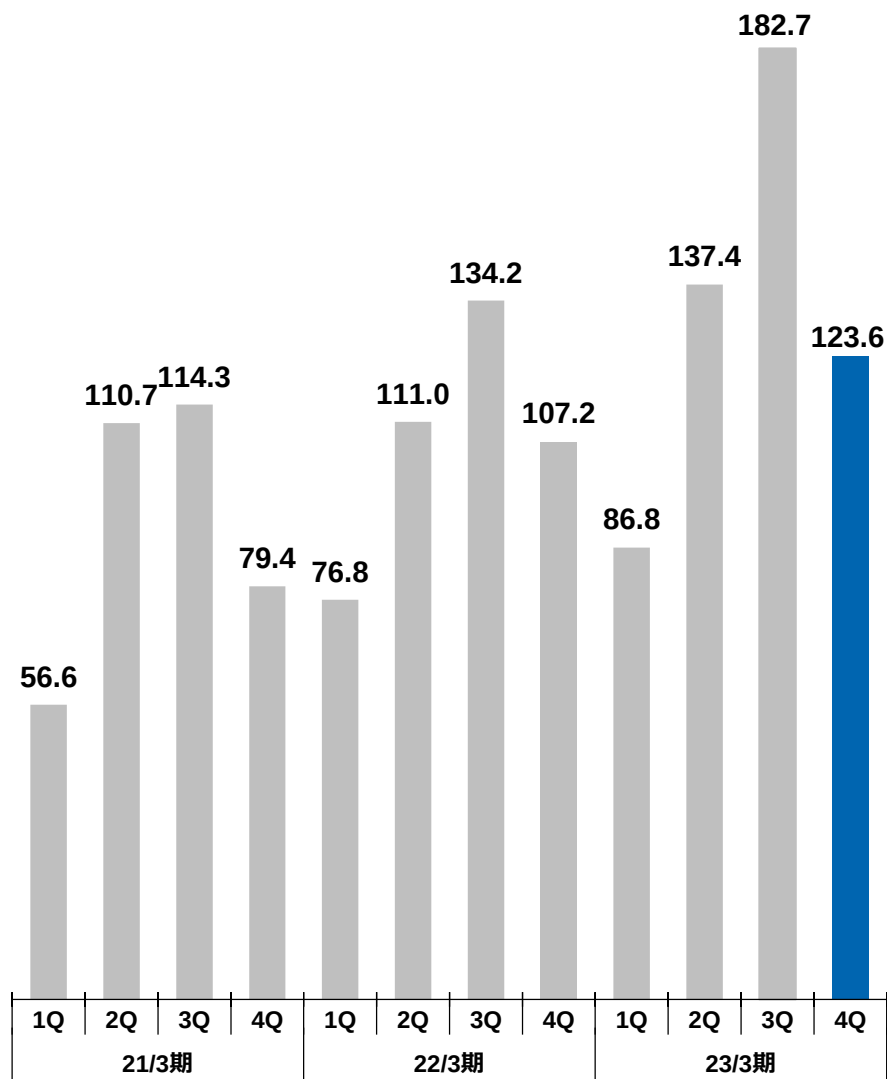


営業利益 (10億円)

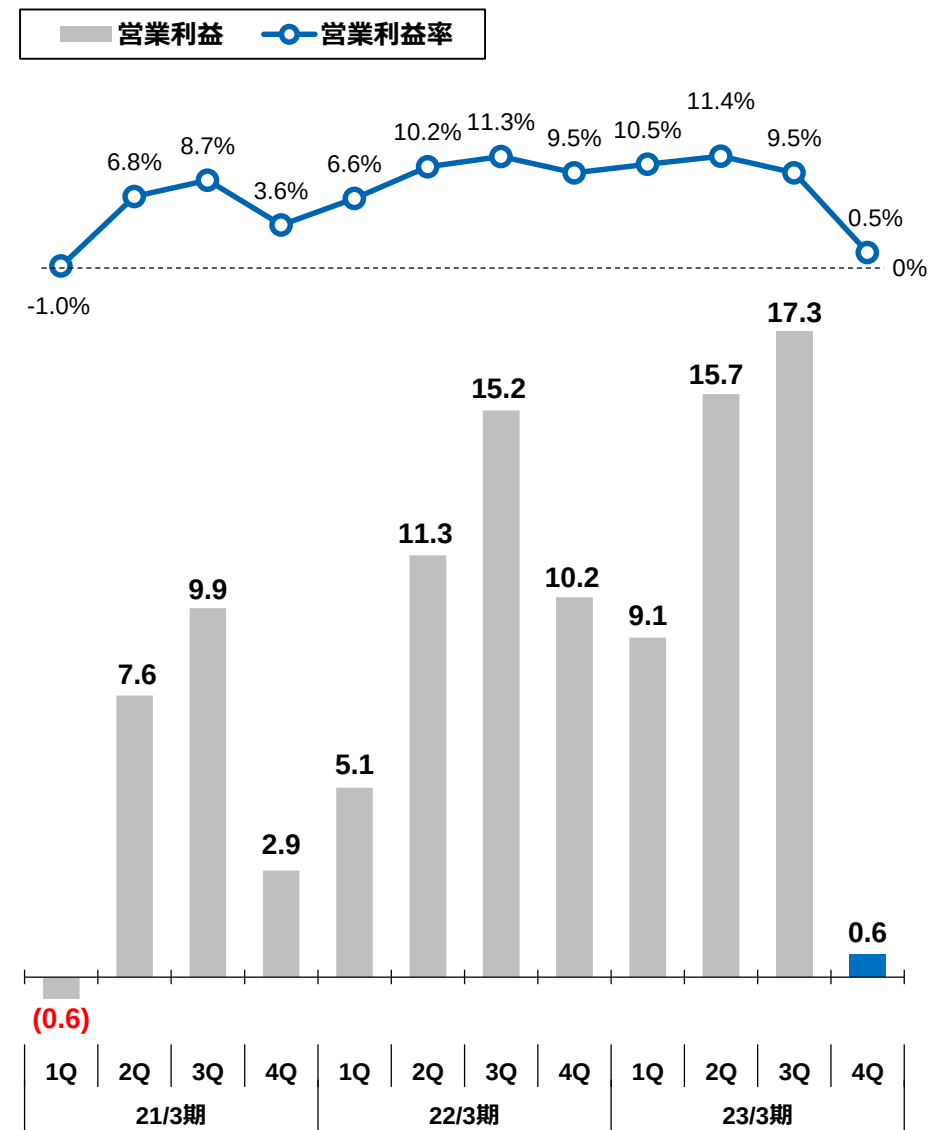


ミツミ事業/セミコンダクタ&エレクトロニクス セグメント (SE)

売上高 (10億円)



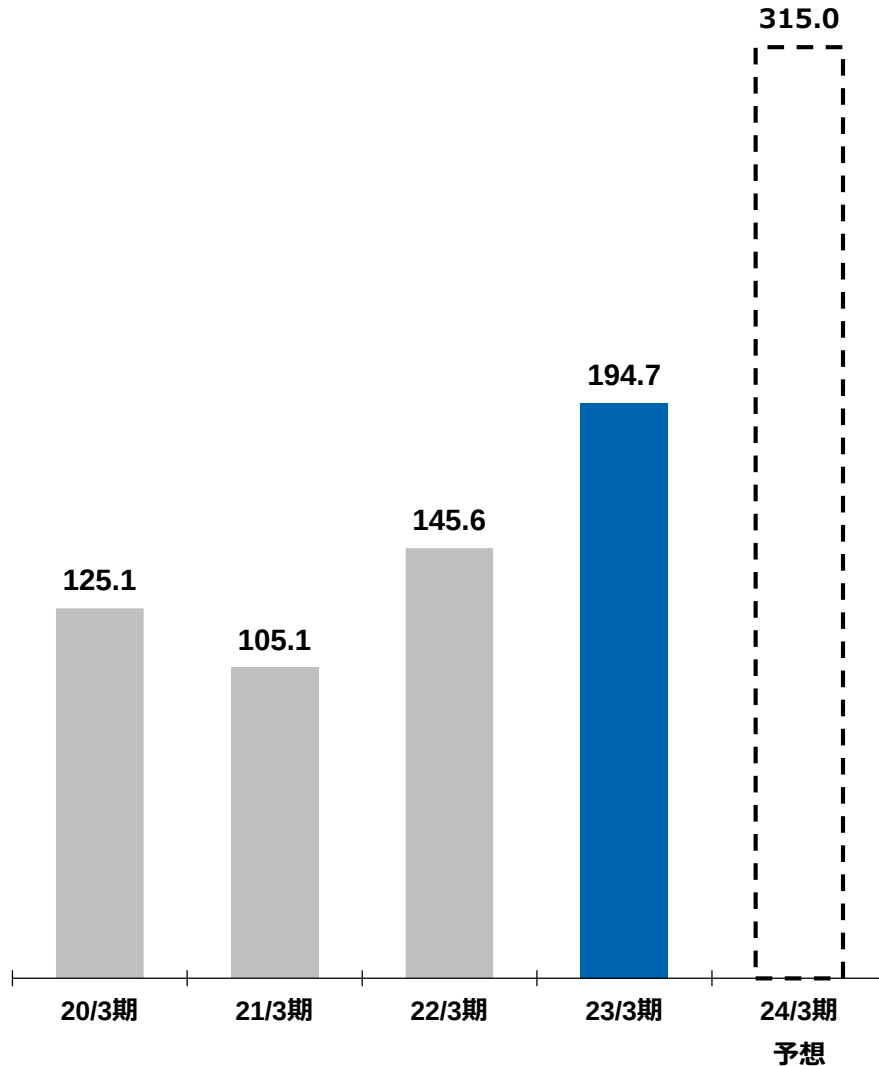
営業利益 (10億円)



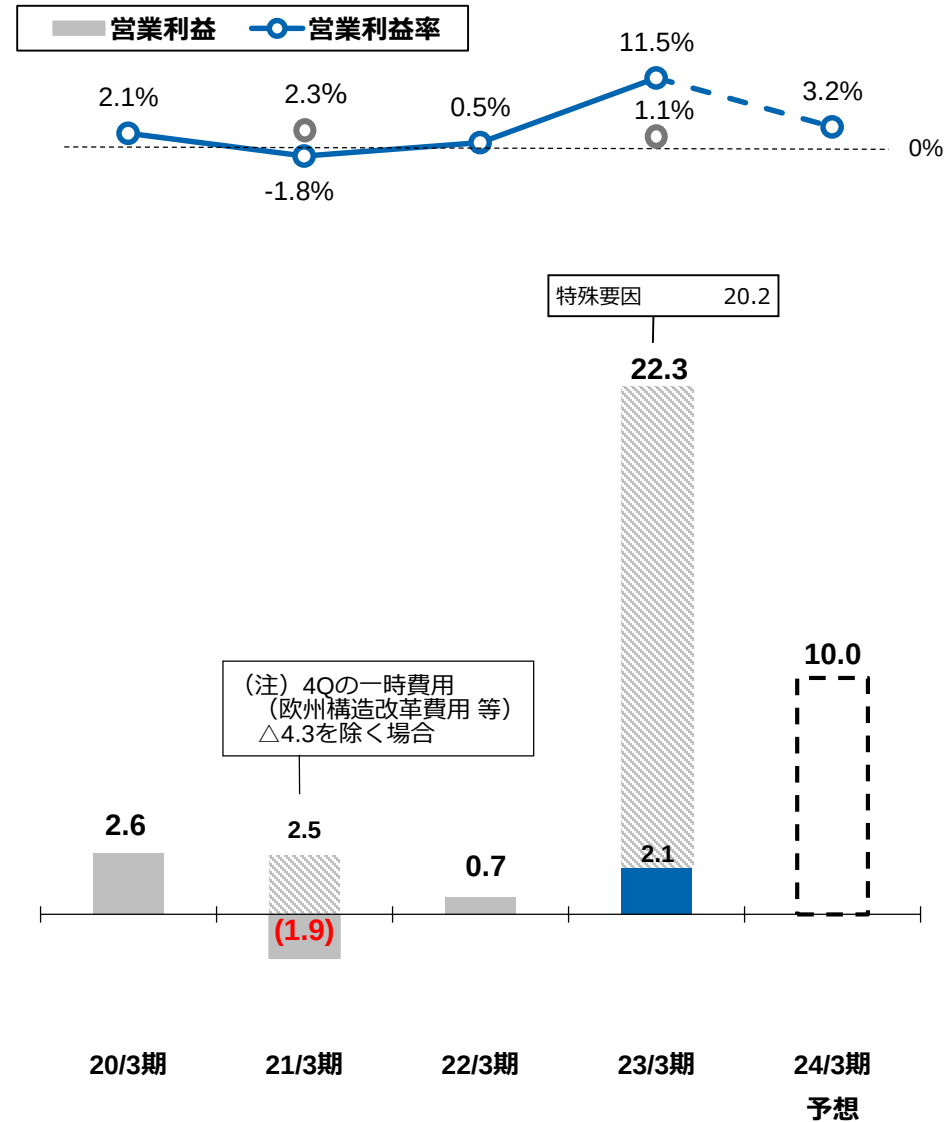
ユーシン事業/アクセスソリューションズ セグメント (AS)

決算期変更に伴い
20/3期は2019年1-3月
の数値を含まず

売上高 (10億円)

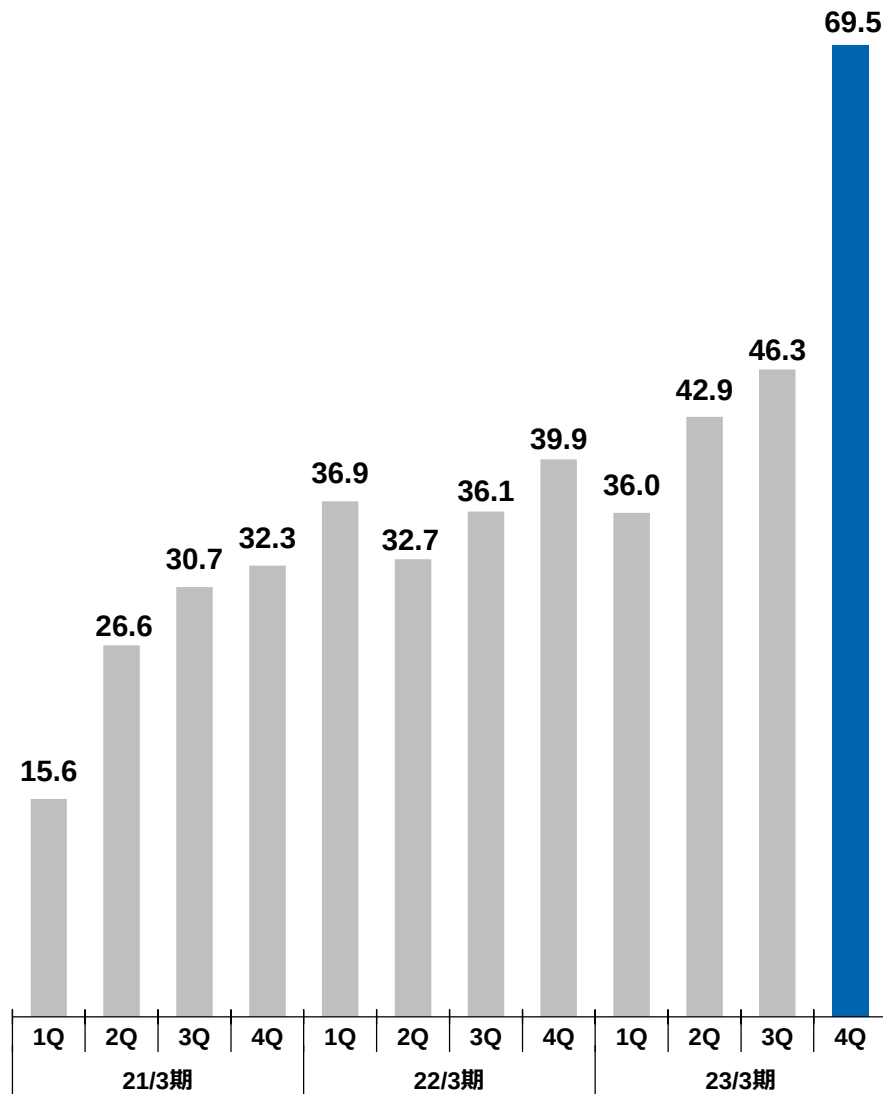


営業利益 (10億円)

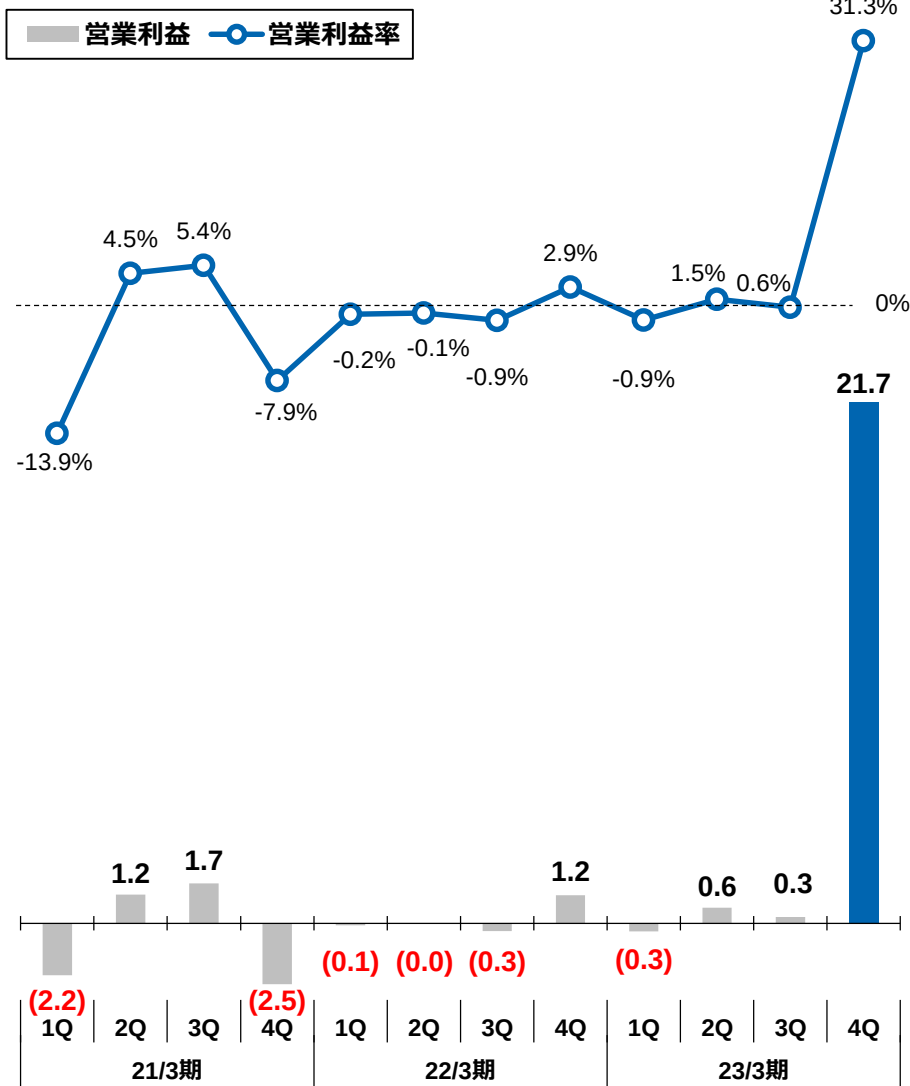


ユーシン事業/アクセスソリューションズ セグメント (AS)

売上高 (10億円)



営業利益 (10億円)

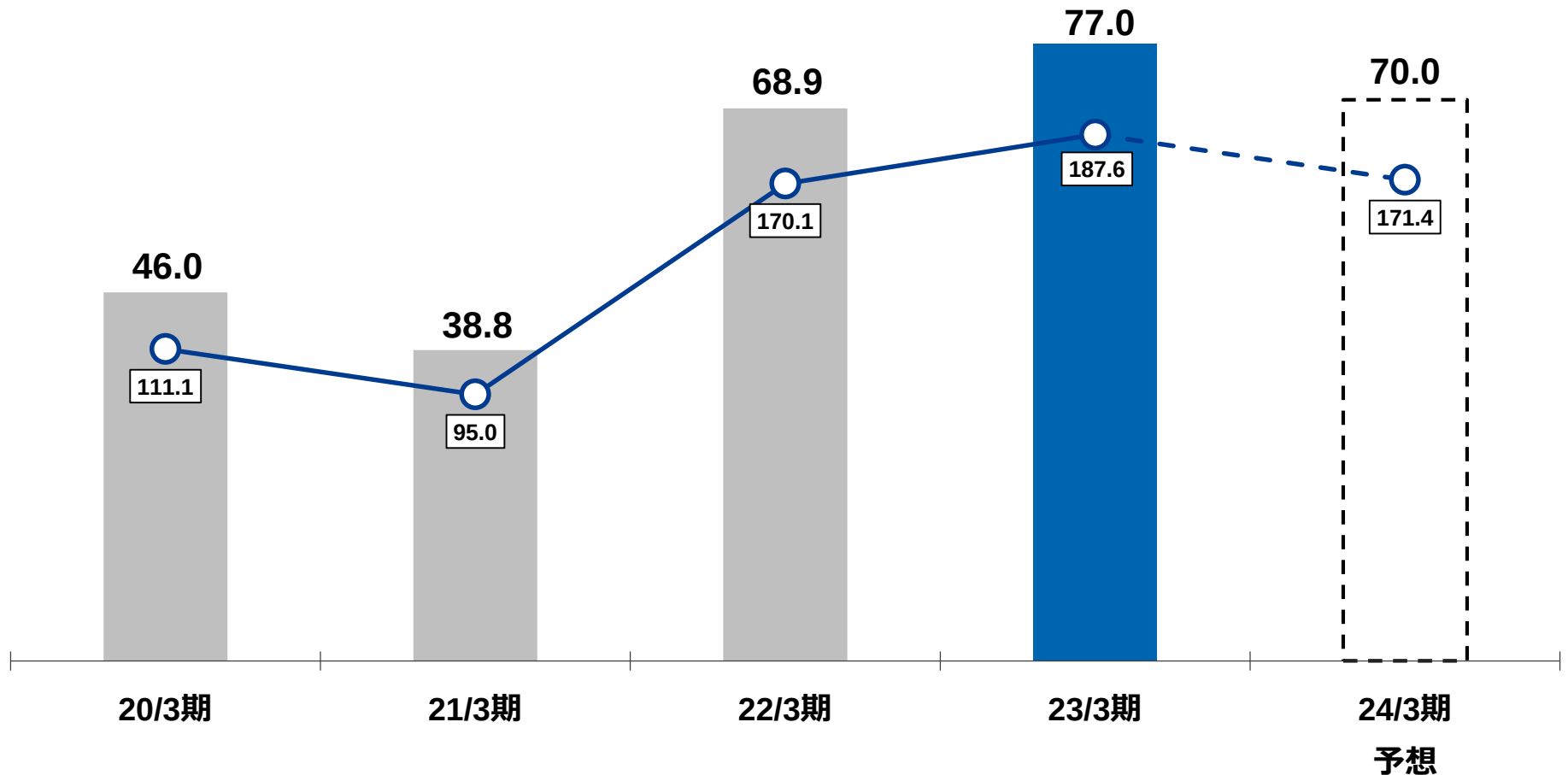


親会社の所有者に帰属する当期利益

(10億円)

■ 親会社の所有者に帰属する当期利益

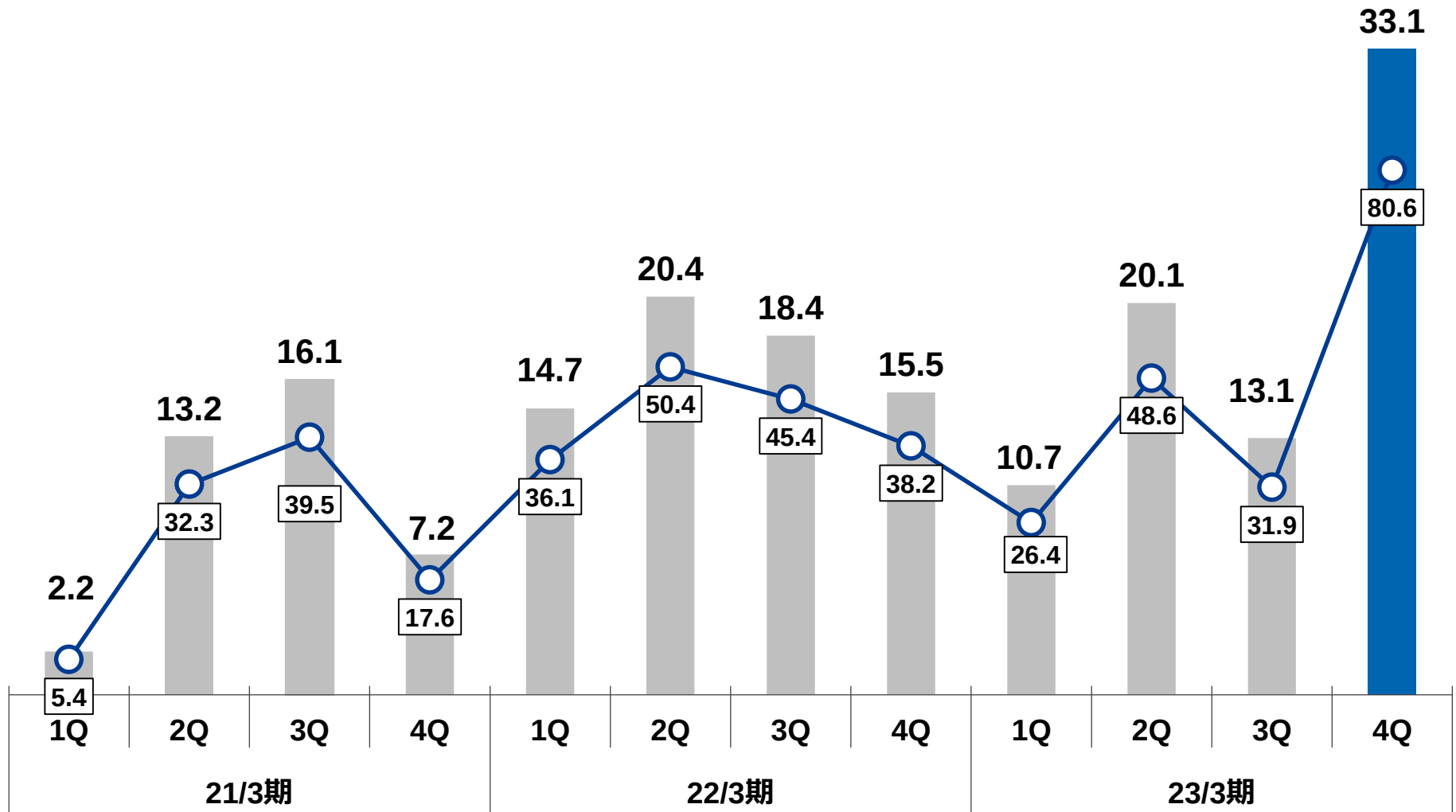
○ 基本的1株当たり当期利益 (円)



親会社の所有者に帰属する四半期利益

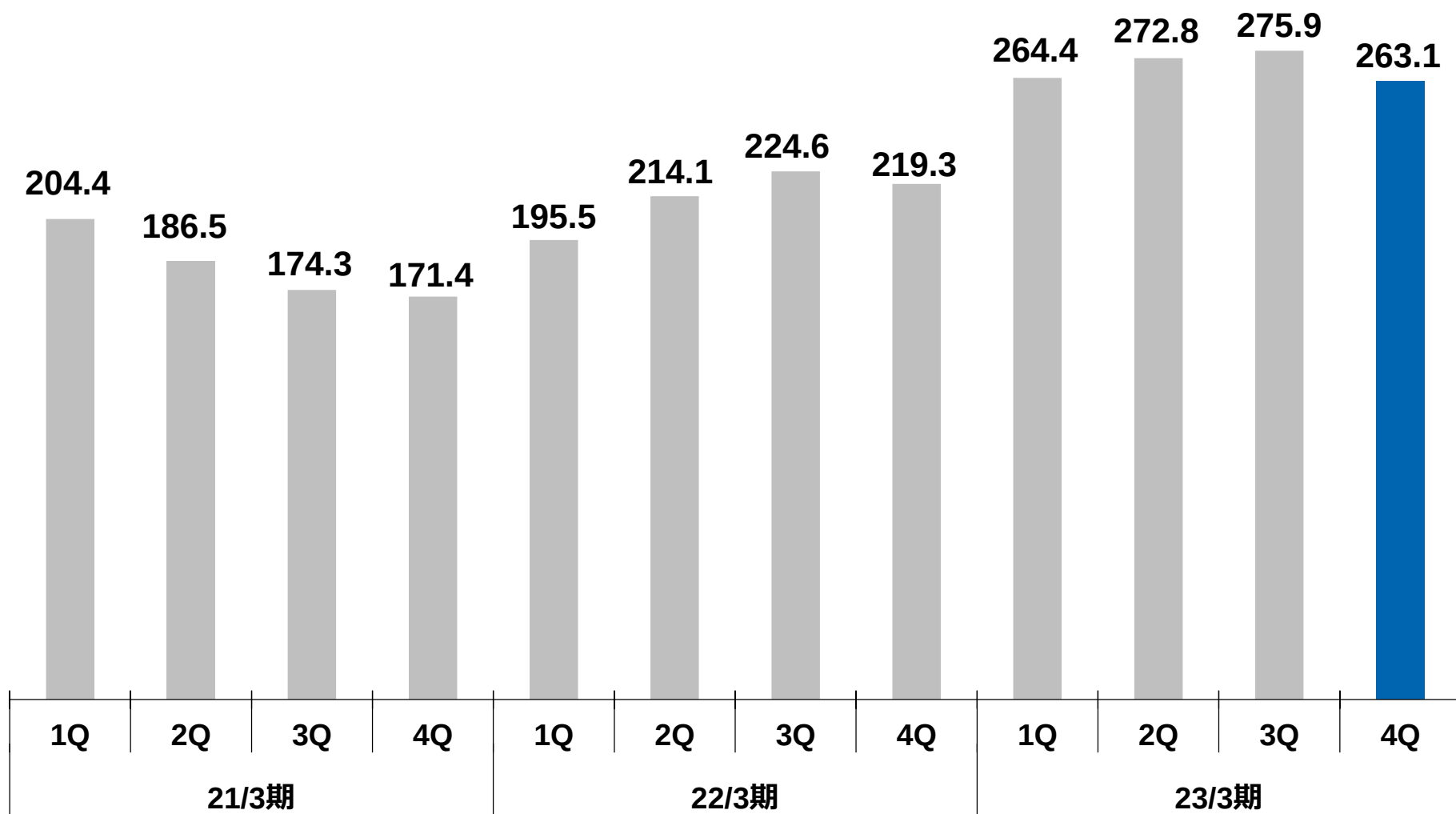
(10億円)

■ 親会社の所有者に帰属する四半期利益 ● 基本的1株当たり四半期利益 (円)



棚卸資産

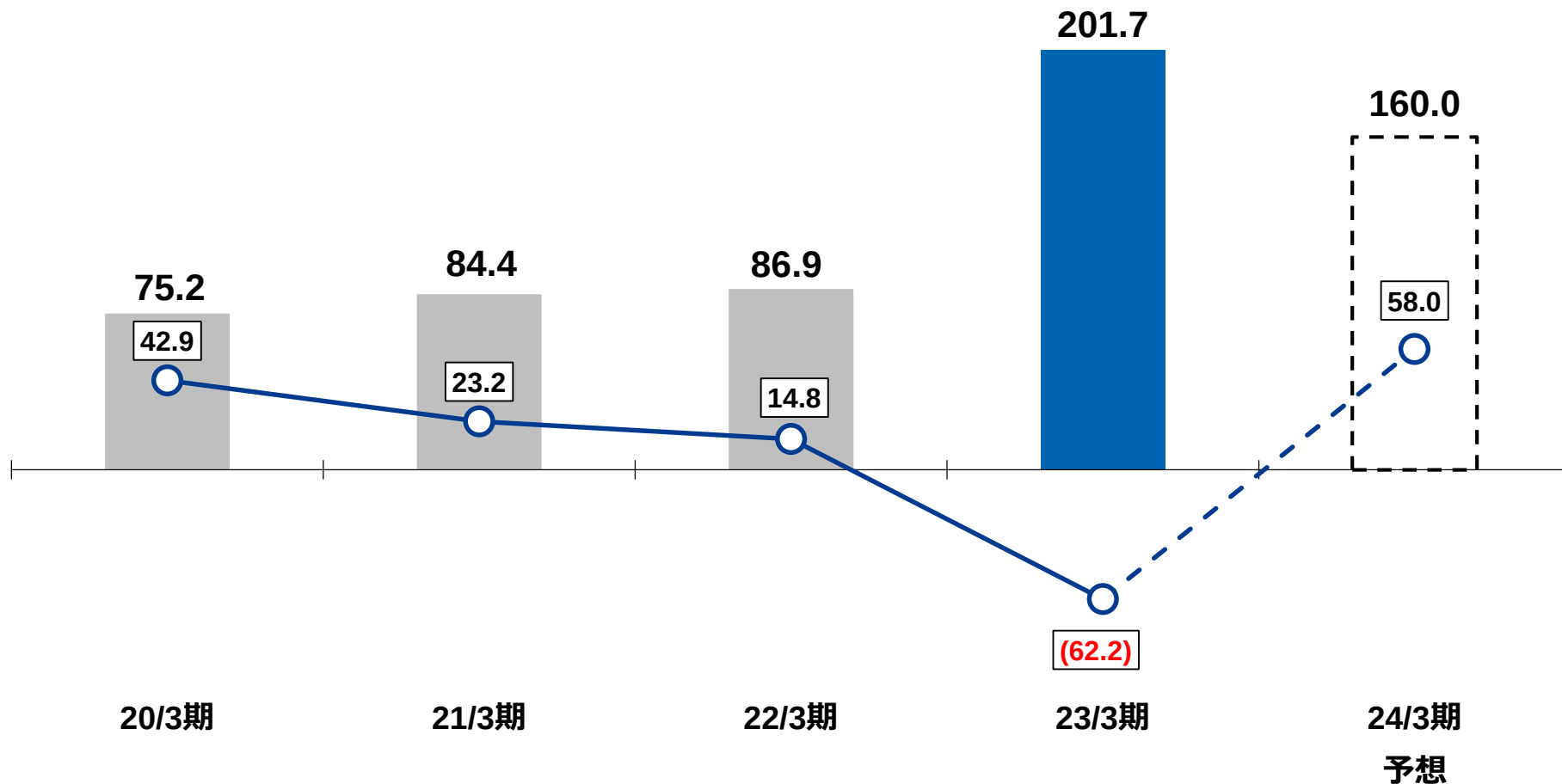
(10億円)



ネット有利子負債、フリーキャッシュフロー

(10億円)

■ ネット有利子負債* ○ フリーキャッシュフロー



*ネット有利子負債：連結財政状態計算書上の「社債および借入金」 - (「現金および現金同等物」+ 3か月超の定期預金)

売上高は過去最高を更新へ

(百万円)	2023年3月期 通期	2024年3月期			
		上半期	下半期	通期	前期比
売上高	1,292,203	663,000	787,000	1,450,000	+12.2%
営業利益	101,522	28,000	67,000	95,000	-6.4%
税引前利益	96,120	26,500	65,500	92,000	-4.3%
親会社の所有者に帰属する 当期利益	77,010	20,000	50,000	70,000	-9.1%
基本的1株当たり 当期利益 (円)	187.62	48.97	122.44	171.41	-8.6%

為替レート	2023年3月期 通期	2024年3月期 想定
US\$	134.19円	130.00円
ユーロ	139.90円	140.00円
タイバーツ	3.82円	3.85円
人民元	19.68円	19.40円

セグメント別業績予想

(百万円)	2023年3月期	2024年3月期			
	通期	上半期	下半期	通期	前期比
売上高	1,292,203	663,000	787,000	1,450,000	+12.2%
プレシジョンテクノロジーズ	197,300	99,500	110,500	210,000	+6.4%
モーター・ライティング&センシング	366,275	187,000	218,000	405,000	+10.6%
セミコンダクタ&エレクトロニクス	530,464	226,000	289,000	515,000	-2.9%
アクセスソリューションズ	194,699	148,500	166,500	315,000	+61.8%
その他	3,465	2,000	3,000	5,000	+44.3%
営業利益	101,522	28,000	67,000	95,000	-6.4%
プレシジョンテクノロジーズ	42,951	22,500	26,500	49,000	+14.1%
モーター・ライティング&センシング	922	4,000	13,000	17,000	18.4倍
セミコンダクタ&エレクトロニクス	42,740	11,500	30,500	42,000	-1.7%
アクセスソリューションズ	22,302	1,500	8,500	10,000	-55.2%
その他	△1,290	△500	△500	△1,000	-
調整額	△6,103	△11,000	△11,000	△22,000	-

経営方針と事業戦略

Management policy & Business strategy

2023年5月11日

代表取締役 会長 CEO

貝沼 由久



全体

- 売上高、営業利益、純利益のすべてで**過去最高を達成**。
- 自動車回復の遅れ、携帯電話の不調、データストレージ関連の減速などの想定外があったものの、一時的な収益もあり、**営業利益1,000億円を達成**。
- 2029年3月期の売上高2.5兆円、営業利益2,500億円に向けてM&Aの再開（4件）、構造改革の実施などの布石を打つと共に**大きな飛躍のための発射台構築は完了**。
⇒コネクタ、アナログ半導体、アクセスソリューションズ等

プレジジョン

テクノロジーズ（PT）

- ボールベアリングは生産能力の増強が完成し準備万端。償却は増産に応じて開始。
- 航空機関連事業は想定通りに回復、さらなる成長へ。

モーター・ライティング& センシング（MLS）

セミコンダクタ& エレクトロニクス（SE）

- **SE事業は想定を下回るも過去最高益達成、PT事業に並ぶ**。
- HDD向けモーターは顧客の生産調整の影響を受けた。
- HDD向け以外のモーターは堅調に推移、収益性も改善。
- 光デバイスは期初計画を上回って着地、名実ともにナンバーワンへ。

アクセス ソリューションズ（AS）

- ミネベアアクセスソリューションズ（MAS）統合完了、**PMI実施中**。
- あとは自動車生産の回復を待つのみ。

特殊要因を除いた事業ベースでの過去最高益を狙う

データセンター、自動車などの市場回復を期待

今期の ポイント

- プレシジョンテクノロジーズ（PT）
航空機を含む市場の回復は下半期
- モーター・ライティング&センシング（MLS）
車載向けは徐々に回復し、モーターが成長、収益貢献が本格化
- セミコンダクター&エレクトロニクス（SE）
堅調な光デバイスとアナログ半導体でゲームの減収をカバー
- アクセスソリューションズ（AS）
市場回復に伴う増収増益と統合効果の実現へ

（百万円）

	2023年3月期 通期	2024年3月期			
		上半期	下半期	通期	前期比
売上高	1,292,203	663,000	787,000	1,450,000	+12.2%
営業利益	101,522	28,000	67,000	95,000	-6.4%
親会社の所有者に帰属する 当期利益	77,010	20,000	50,000	70,000	-9.1%
基本的 1 株当たり 当期利益（円）	187.62	48.97	122.44	171.41	-8.6%

売上高2.5兆円、営業利益2,500億円に向けて

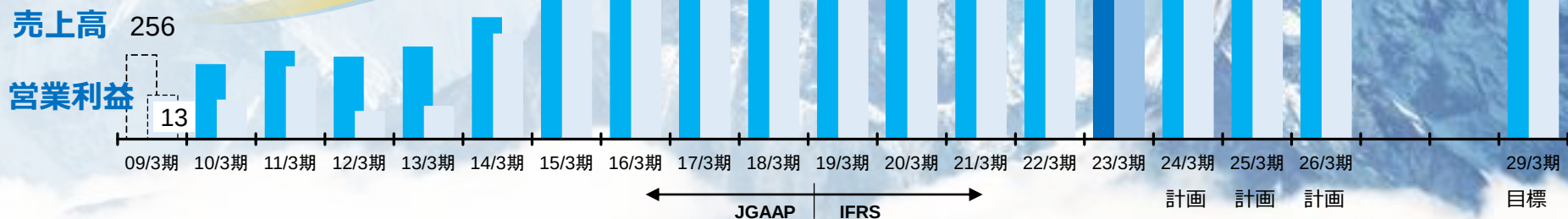
10期連続 過去最高売上高更新！

※24/3～26/3の計画には
新たなM&Aによる上乗せは含まれない

09/3～23/3 CAGR
売上高 12.3%
営業利益 15.5%

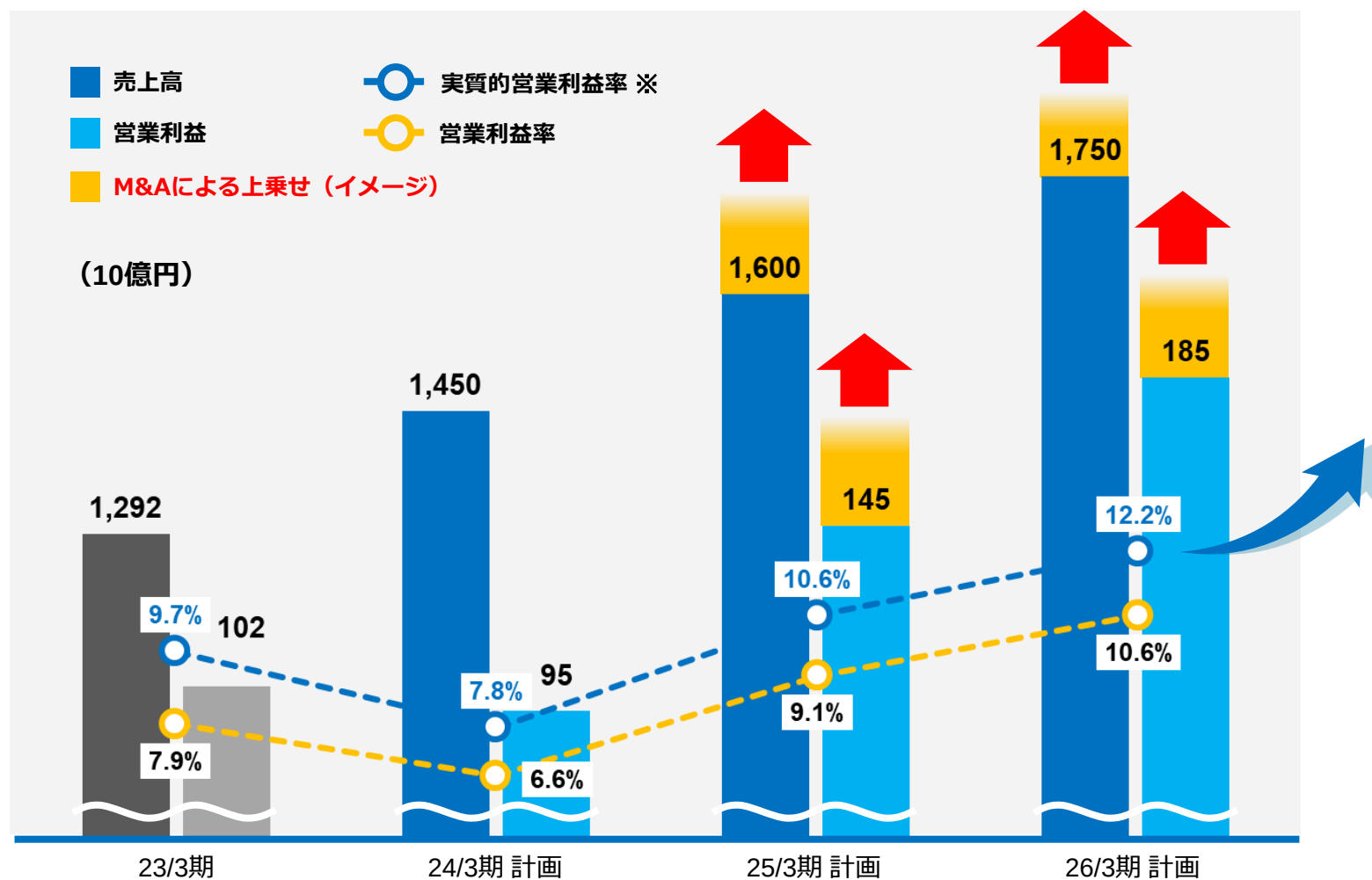
23/3～29/3 CAGR
売上高 11.6%
営業利益 16.3%

(10億円)



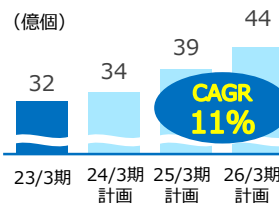
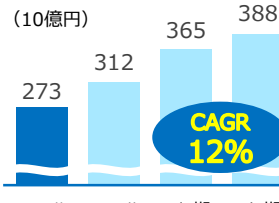
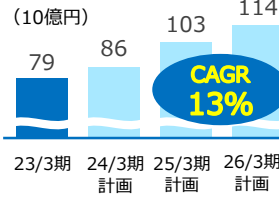
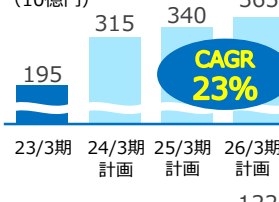
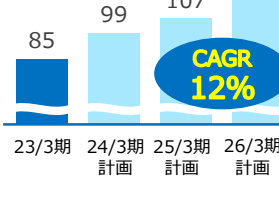
Mix改善により実質的営業利益率は15%台達成へ

ベアリング・ロッドエンド、アナログ半導体の売上増とその他製品の利益率の向上



※ 実質的営業利益率：支給部品等の売上高を除いた場合の営業利益率

時代のトレンド、変化点をとらえ、事業機会を拡大

ベアリング 	電動化	▶自動車EV化、ロボティクス	▶スーパーベアリング ▶中径ベアリング ▶高速対応ベアリング	(億個) 
	自動化	▶CASE、ロボティクス		
	超高速通信	▶データセンター、基地局		
モーター 	電動化	▶自動車EV化、ロボティクス	▶熱マネジメントモーター ▶レゾルバ ▶LiDAR用モーター、LATM ▶高速ファンモーター ▶スマートアクチュエータ	(10億円) 
	自動化	▶CASE、ロボティクス		
	超高速通信	▶データセンター、基地局		
	センシング	▶制御アルゴリズム		
アナログ半導体 	電動化	▶電池制御、高圧制御	▶パワー半導体、多直IC ▶高速ADC ▶CLEAN-Boost® ▶MEMS、磁気センサー	(10億円) 
	超高速通信	▶アナログデータプロセッシング		
	センシング	▶アナログデータプロセッシング		
アクセス製品 	自動化	▶自動車の電装化	▶e-ラッチ、フラッシュハンドル ▶CSD、スマートキー ▶5Gアンテナ・複合アンテナ	(10億円) 
	超高速通信	▶OTA、V2X		
その他 ・センサー ・コネクタ ・電源	電動化	▶電池制御、高圧制御	▶ハイパワー電源モジュール ▶高圧トランス ▶高速通信モジュール ▶高速伝送コネクタ ▶MINEGE®	(10億円) 
	自動化	▶各種センサーネットワーク		
	超高速通信	▶高速伝送		
	センシング	▶高精度高感度センシング		

CASE時代に向け、新たな事業機会の創出へ

Connected つながる

- ▶ 5Gアンテナ/複合アンテナ
- ▶ WiFi/BT, GNSS, LTEモジュール
- ▶ 高速伝送コネクタ
- ▶ HMI
- ほか

Shared 共有

- ▶ スマートキー(UWB)
- ▶ E-ラッチ
- ▶ フラッシュハンドル
- ほか

Autonomous 自律走行

- ▶ LiDAR用ブラシレスモーター
- ▶ LiDAR用LATM ※1
- ▶ ECU冷却ファン
- ▶ センサー
- ▶ 高速ADC
- ほか

※1 LATM：限定角度往復回転モーター

※2 AGA：アクティブ グリルシャッター アクチュエーター

Electric 電動

- ▶ ウォータポンプ用モーター
- ▶ 二次電池冷却ファン
- ▶ レゾルバ
- ▶ 電池保護モジュール
- ▶ パワーモジュール（電源モジュール）
- ▶ IGBT
- ▶ CSD
- ▶ HVACモジュール
- ▶ AGA ※2
- ▶ E-シフター
- ほか

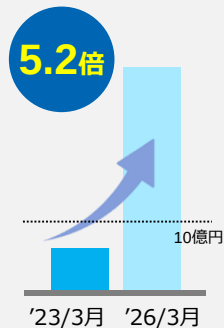
▼自動車



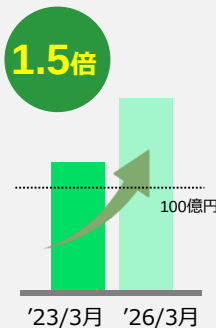
▼車載アンテナ



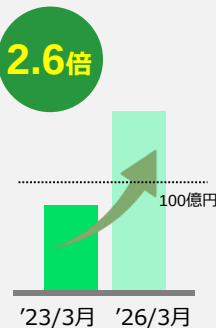
▼LiDAR



▼車載ファン



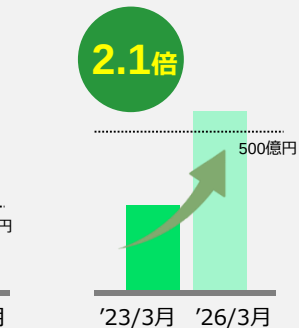
▼レゾルバ



▼車載半導体



▼モーターアクチュエータ

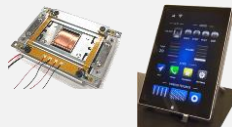


8本槍の相合（自動車関連の例）

相合されている8本槍

HMI

Human Machine Interface



- ✓ 触感フィードバックを実現するシステム

LATM

Limited Angle Torque Motor



- ✓ LiDARのミラーを高速・高精度で制御

HVAC LIN

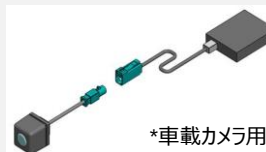
Heating, Ventilation, and Air Conditioning with Local Interconnect Network



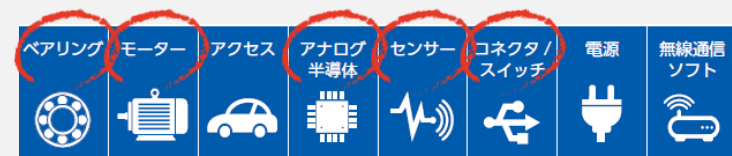
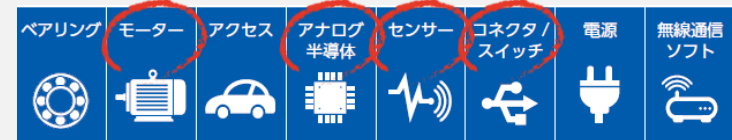
- ✓ エアコンの快適性・効率性を向上

Camera Connector

- ✓ HTK、ミネベアコネクト、ミツミによる
トータルソリューションの提供



*車載カメラ用



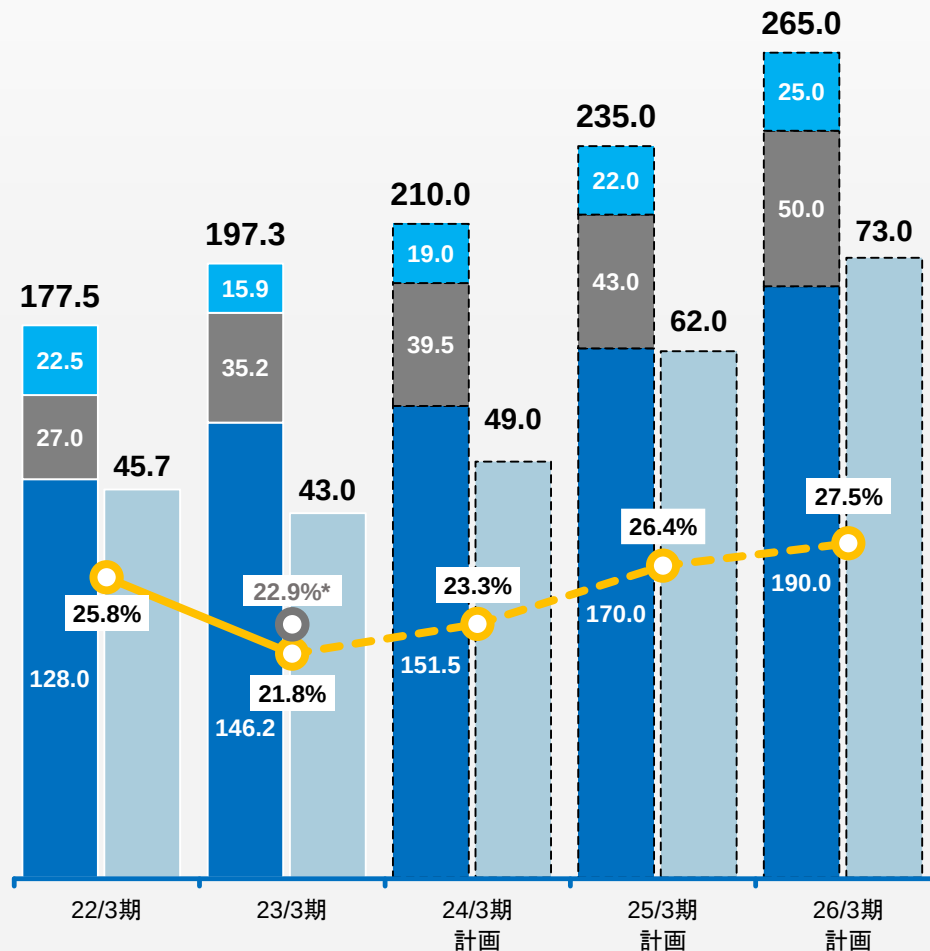
*相合（そうごう）：「総合」ではなく、「相い合わせる」ことを意味し、自社保有技術を融合、活用して「8本槍」を進化させるとともに、その進化した製品をさらに相合することでさまざまな分野で新たな製品を創出すること。

ボールベアリングの成長と 航空機の回復+成長

主なポイント

- 1 ボールベアリング 販売
自動車、データセンターで足元は調整も、中長期では確実に成長
- 2 ボールベアリング 生産能力
いつでも月産370百万個まで増産可能
- 3 ロッドエンド・ファスナー
コロナ影響からの回復局面からさらなる成長へ

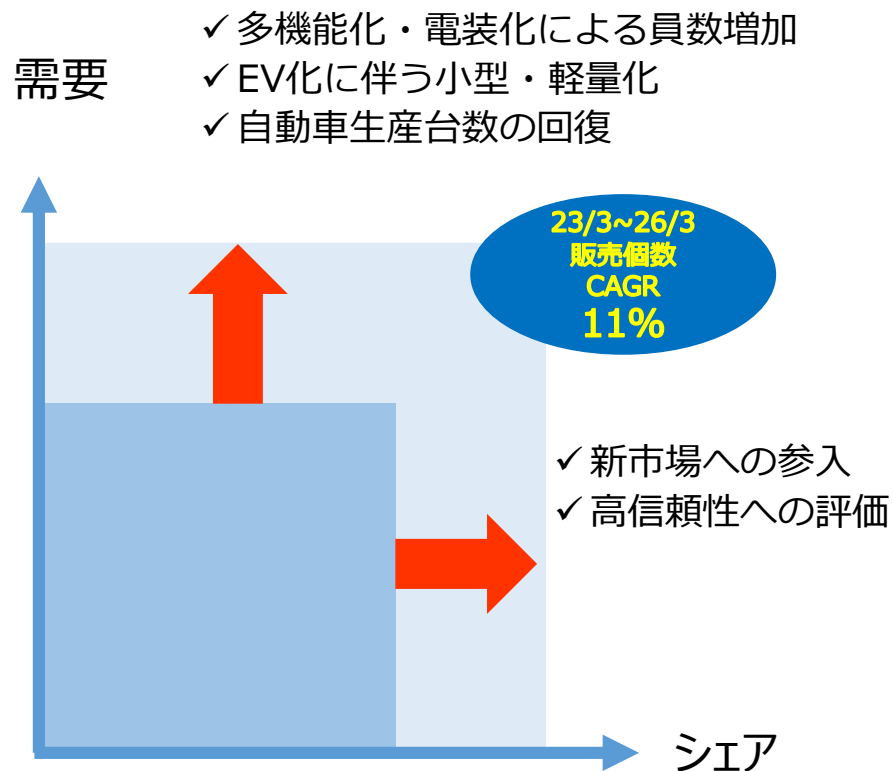
■ ボールベアリング売上高 ■ ピボットアセンブリー売上高 ■ 営業利益
■ ロッドエンド・ファスナー売上高 ○ 営業利益率
(10億円)



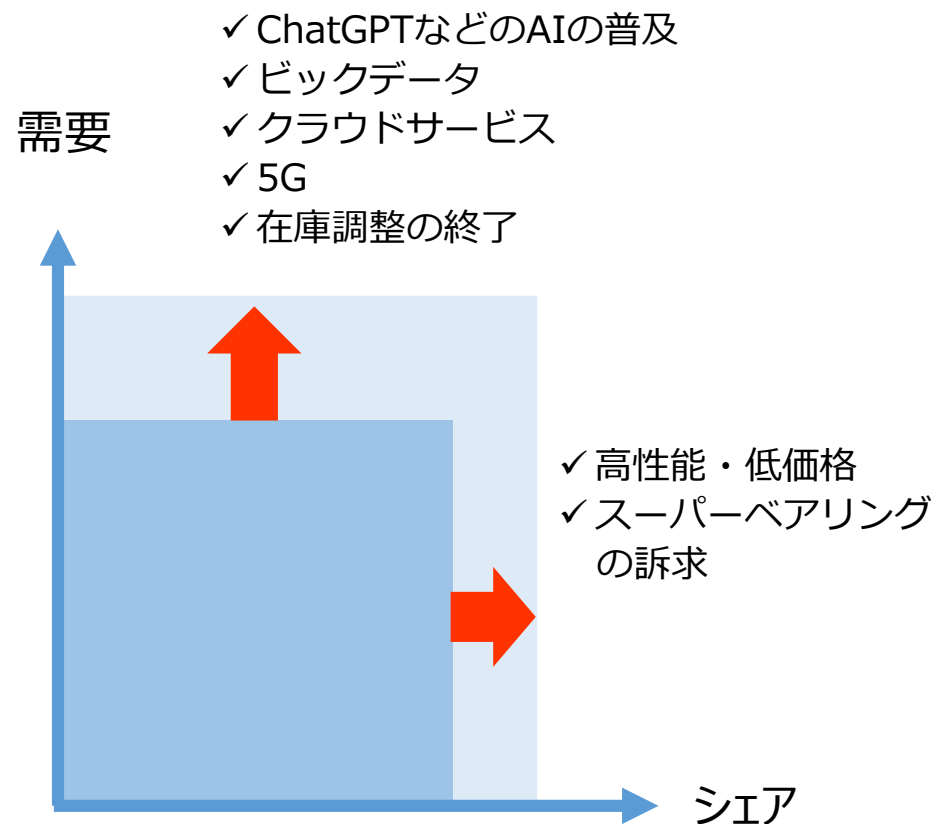
*特殊要因を除く

自動車向け・データセンター向けにおける シェア拡大 × 需要増加による成長

自動車向け



データセンター向け



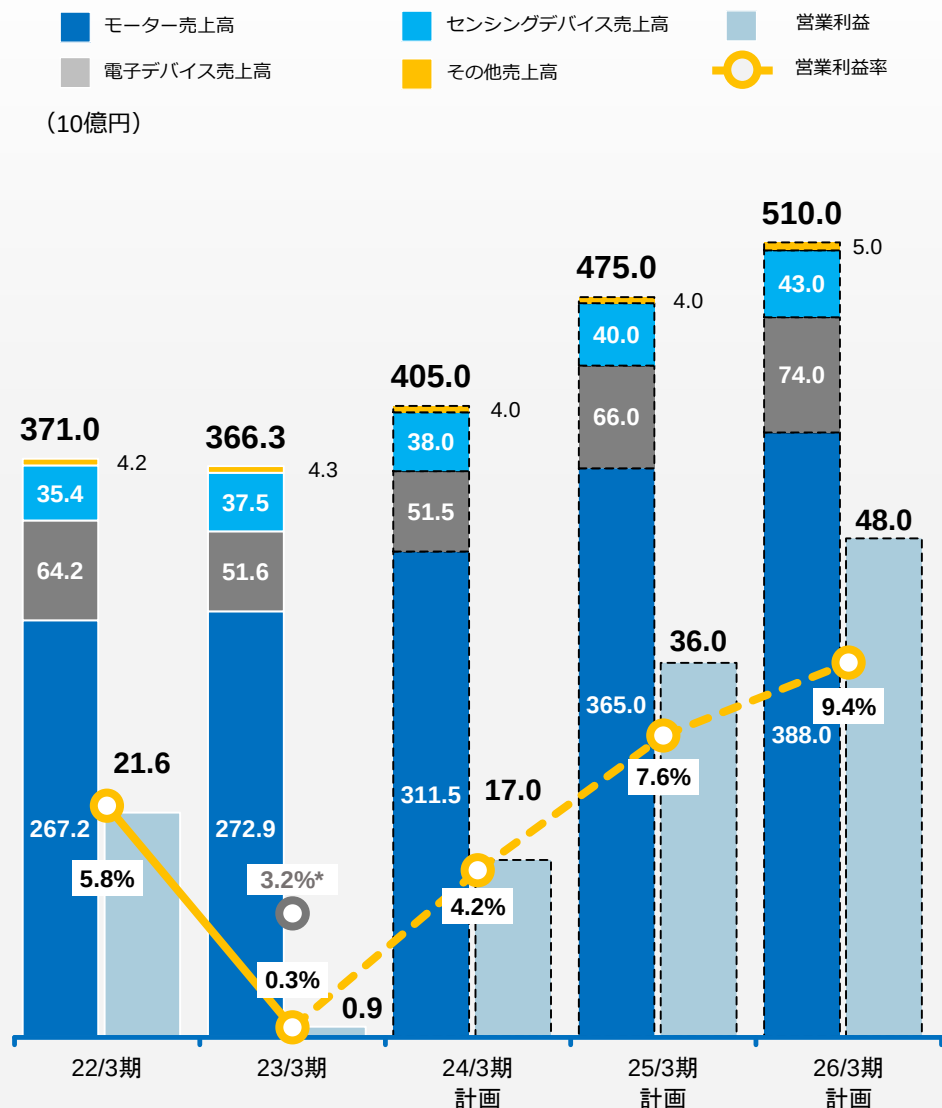
モーターを収益の柱として 成長が加速

主なポイント

1 モーター
HVAC、LiDAR、ACTUATOR等の
車載モーターのトップライン成長が
収益性を一段と引き上げる

2 電子デバイス
レゾナントデバイスの収益寄与と
バックライト事業の構造転換

3 センシングデバイス
2次電池やワクチンの製造設備向け
センサ製品の需要拡大

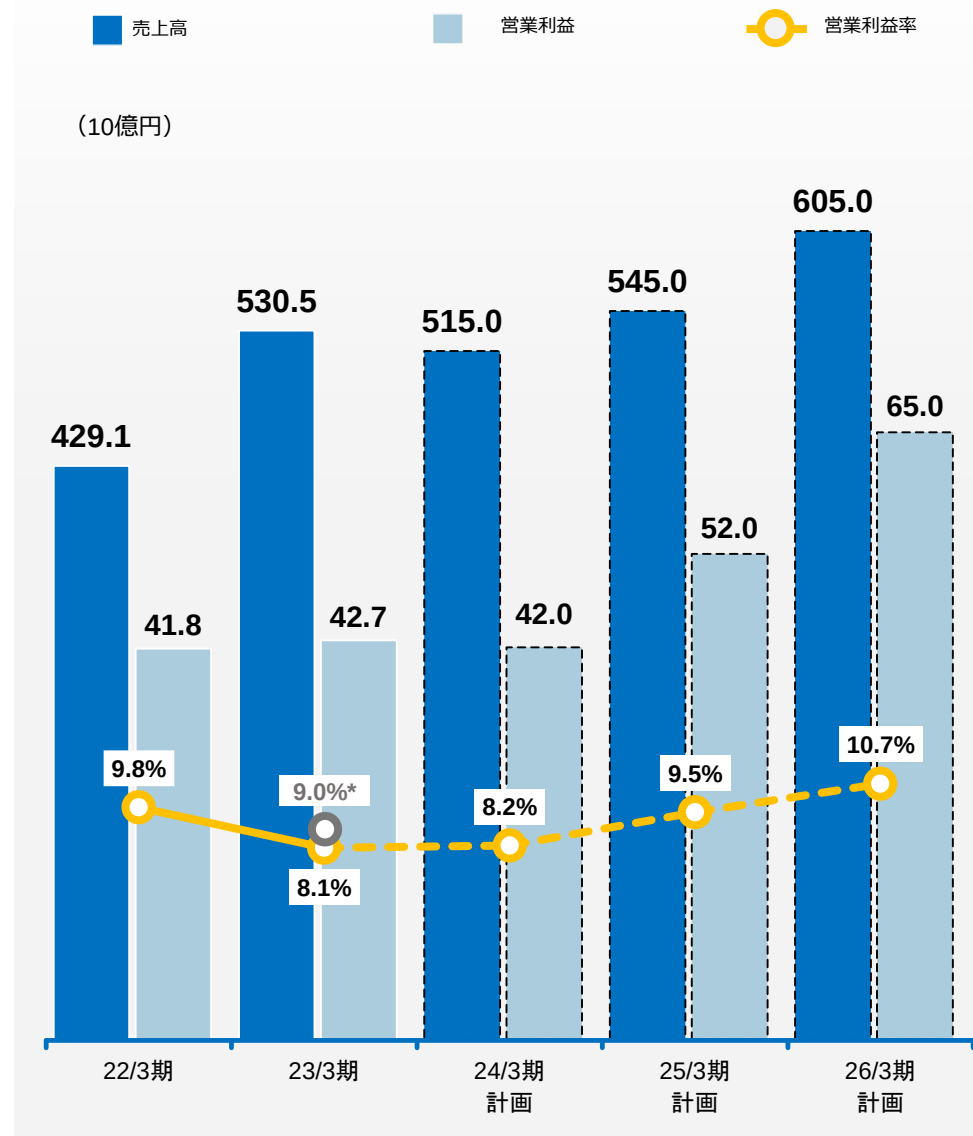


*特殊要因を除く

高収益を維持し さらなる成長へ

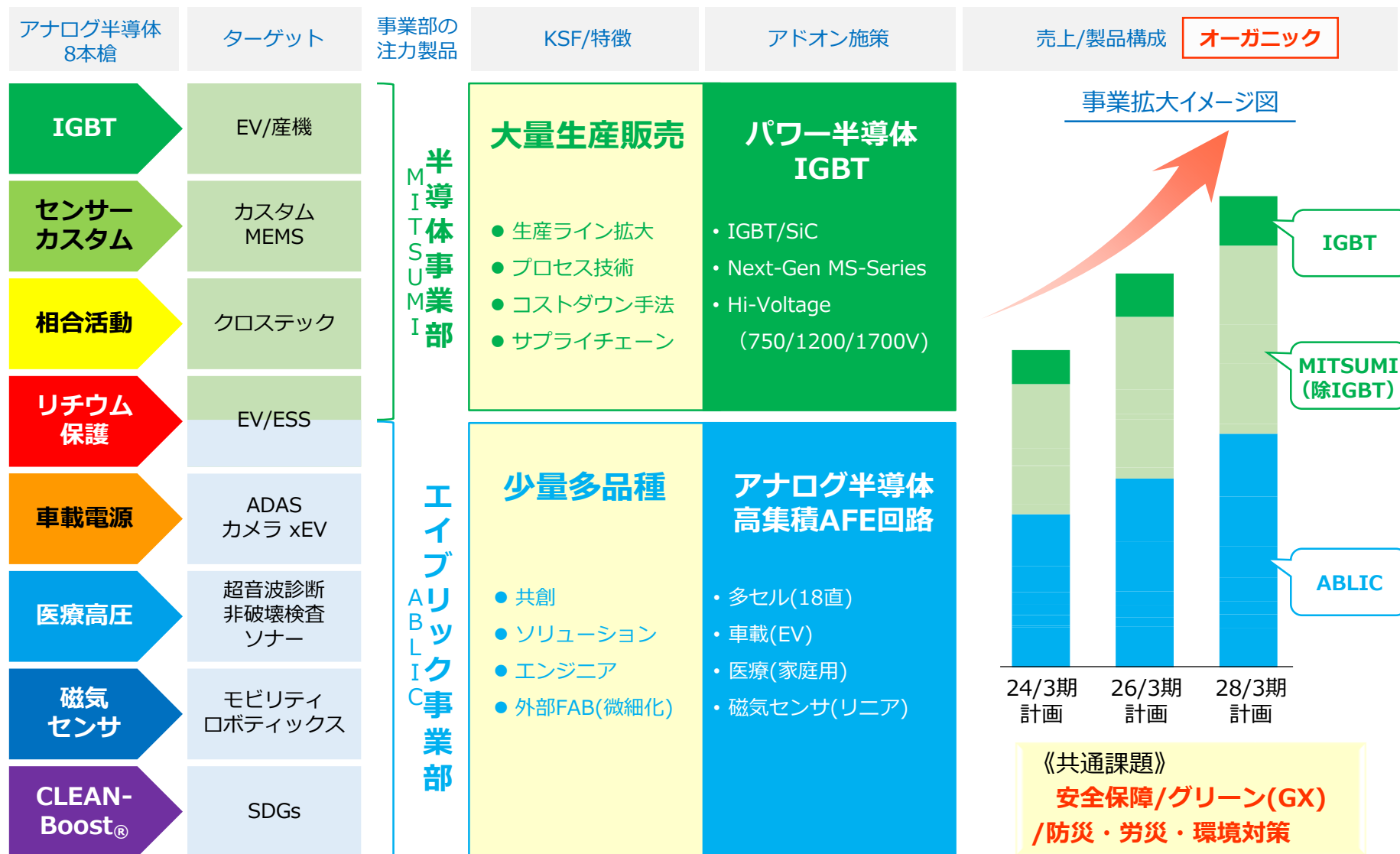
主なポイント

- 1 光デバイス
当社製品搭載率上昇で堅調に推移
- 2 アナログ半導体
市場回復と滋賀工場の貢献
安定成長を継続のため、踏み込んだ
成長投資を加速
- 3 機構部品
相合力を活用し
新規OEMビジネス開拓へ
- 4 コネクタ
統合効果による成長へ



*特殊要因を除く

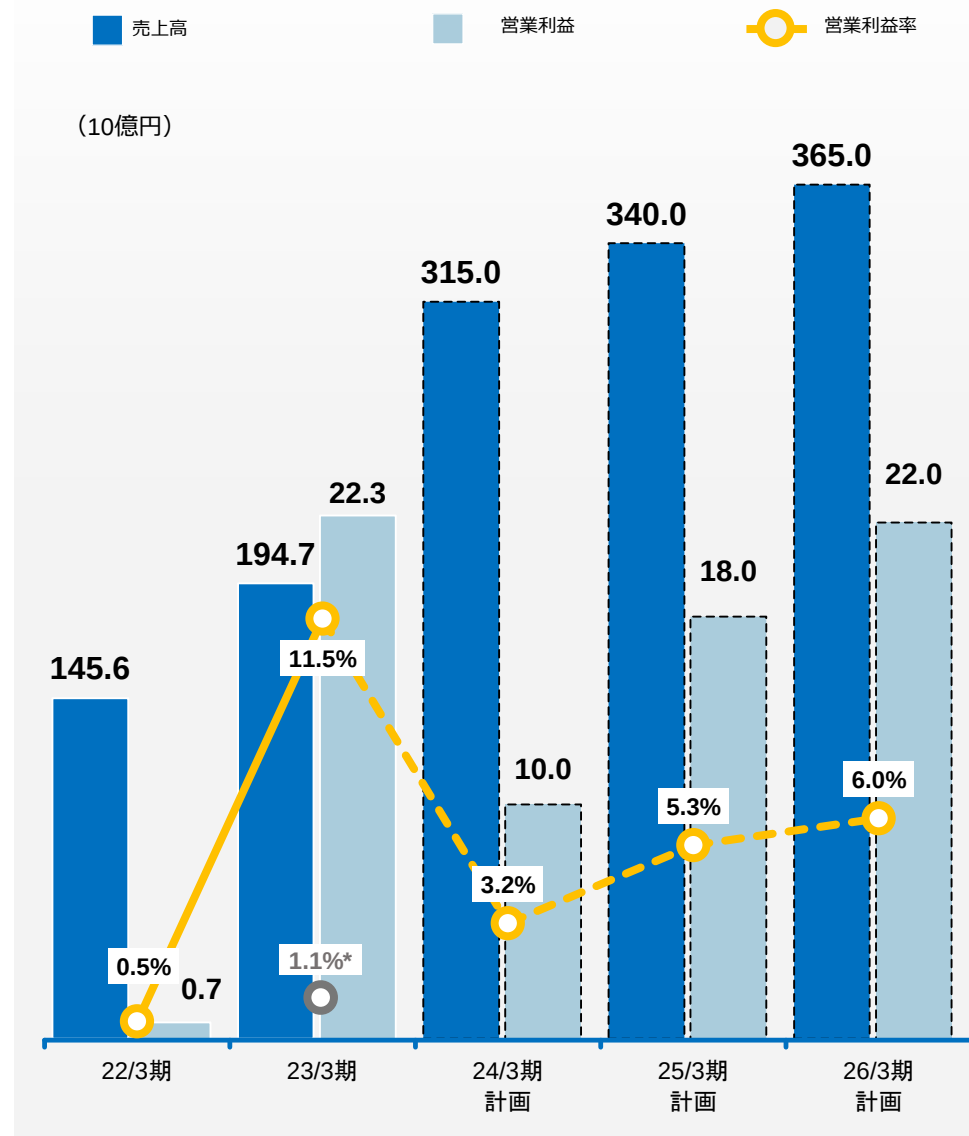
各事業部の強み・特徴を最大限生かし、25/3期 1,000億円実現と今後のアドオン施策



市場回復と統合効果で 大幅な収益改善

主なポイント

- 1 市場回復による
構造改革効果の顕在化
- 2 統合によるコスト削減
- 3 高付加価値製品へのシフト
 - ①CSD
 - ②Flush handle
 - ③E-Latch
 - ④チャージポートドア



成長戦略として各種取り組みの強化

キーワードは

1 MMIビヨンドゼロの推進

CO₂排出削減貢献量のさらなる拡大
新たなターゲットの設定

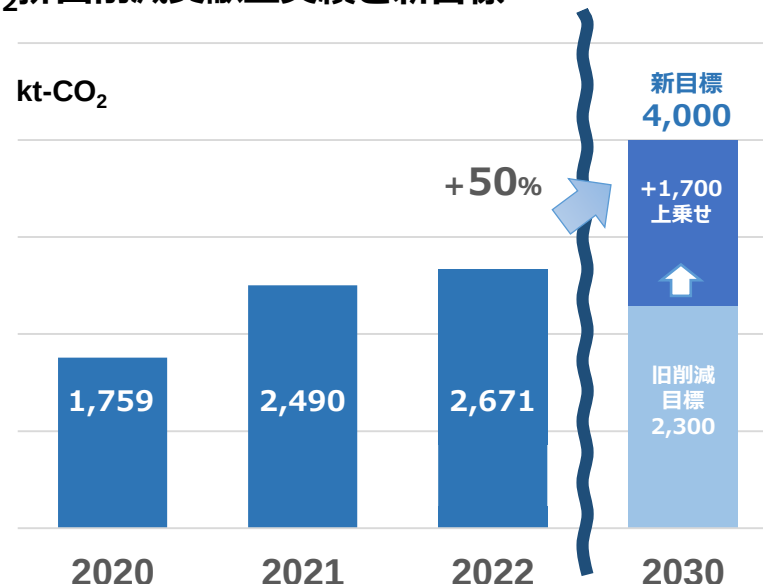
2 再生可能エネルギーの導入

太陽光パネル設置による自家発電に加え、
再生エネルギー電力の契約締結を実施。
不足分は証書購入も検討を開始。

3 イニシアチブへの対応

TCFD対応済み、SBT対応へ
→ 統合報告2023で詳細ご報告予定

CO₂排出削減貢献量実績と新目標



再エネ調達予定の概算

- | | |
|-----------|-----------------------|
| 再生可能エネルギー | 自家発電 |
| ➢ 発電開始済み | 計26GWh/年 (BPI、LPB、武漢) |
| ➢ 施工中 | 計15GWh/年 (チャッツワース、セブ) |
| 再生可能エネルギー | 契約 |
| ➢ 日本国内 | 計2.6GWh/年 |

さらなる経営の効率化とシナジー効果の追求

キーワードは

1

未来に向けた優秀な人材の確保

新卒からキャリア採用まで、
優秀かつ多様な人材を獲得・育成

2

社内外の交流の活性化

社内の拠点、事業部、世代だけでなく、
社外の業種の垣根も超えた、産学連携を
含めた協創を追求

3

保有技術の相合と強靱化

多様な「知」と「人」の「相合」活動を
より一層推進



ミネベアミツミ 東京クロステックガーデン
MinebeaMitsumi Tokyo X Tech Garden
業務開始日 : 2023年3月27日 (月)
規模 : 地上28階、地下4階

次世代に向けた戦略と執行の分業体制

経営理念
経営方針

経営戦略
(成長戦略・目標)

執行

執行事項

執行戦略

執行アクション



貝沼 由久
CEO & COO → CEO



吉田 勝彦
CFO → COO & CFO

23/3期

期末配当 **20** 円/株 年間 **40** 円/株

前期実績18円から2円増配

24/3期
予想

年間配当金については、原則として連結配当性向20%程度を目処としておりますが、経営環境を総合的に勘案し、継続して安定的な配当を目指します。

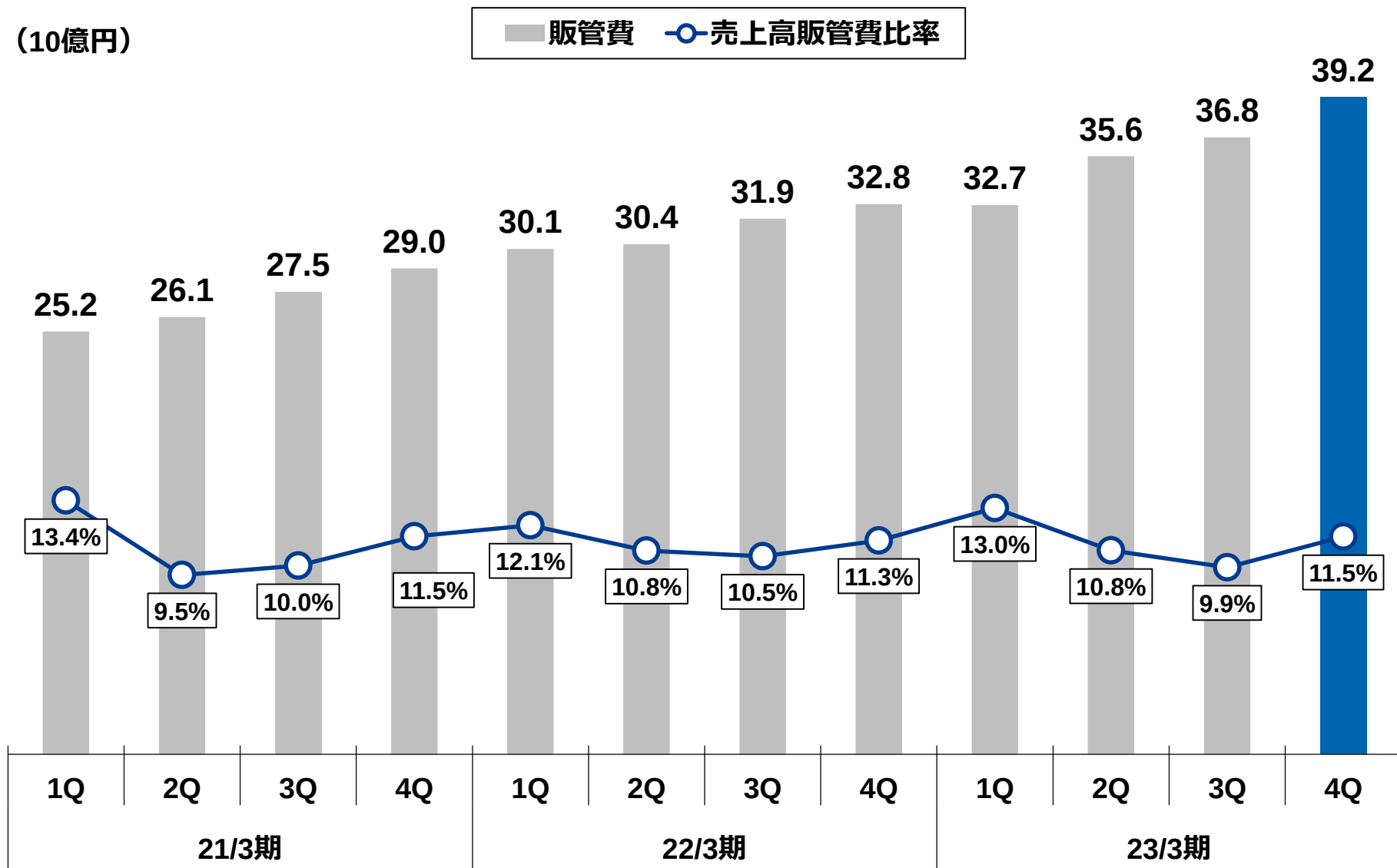


当資料で述べられた内容のうち歴史的事実でないものは、一定の前提の下に作成した将来の見通しであり、また、それらは現在入手可能な情報から得られた当社経営者の判断にもとづいております。実際の業績は、さまざまな要素により、これら見通しとは大きく異なる結果となる場合があります。実際の業績に影響を与える重要な要素としては、(1)当社を取り巻く経済情勢、需要動向等の変化、(2)為替レート、金利等の変動、(3)エレクトロニクスビジネス分野で顕著な急速な技術革新と継続的な新製品の導入の中で、タイムリーに設計・開発、製造・販売を続けていく能力、などです。但し、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。本資料に掲載のあらゆる情報はミネベアミツミ株式会社に帰属しております。手段・方法を問わず、いかなる目的においても当社の事前の書面による承認なしに複製・変更・転載・転送等を行わないようお願いいたします。

參考資料

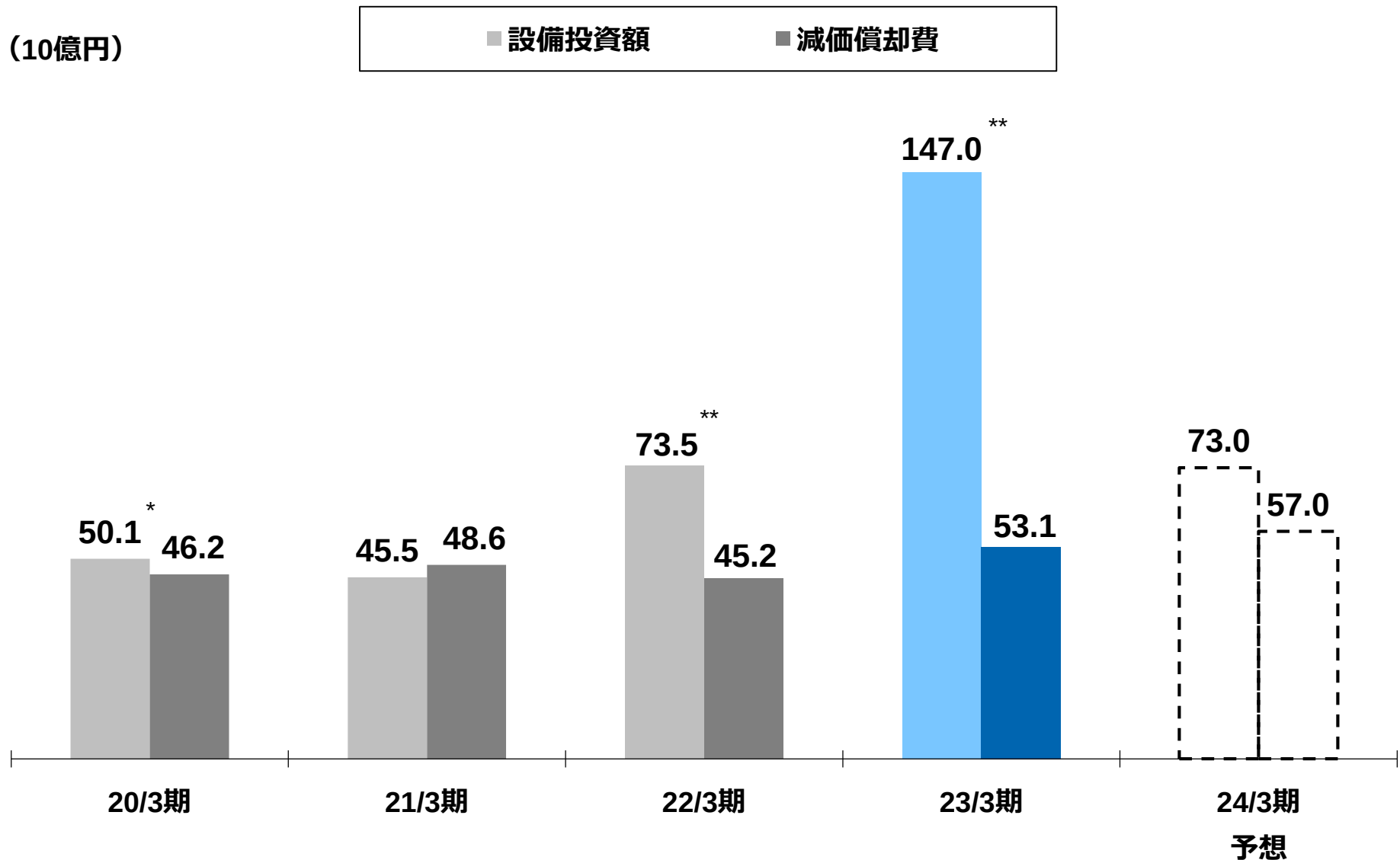
販管費

(10億円)



設備投資額・減価償却費

(10億円)



*20/3期 設備投資額には、IFRS16号適用開始日に増加したリース資産は含まれていません。

**22/3期、23/3期の設備投資額には、新本部ビル取得費用が含まれています。

ROIC (投下資本利益率)

ユーシン事業 (AS) は19/3は経営統合前の参考値でJGAAP、全社には含めない。

ミネベアミツミ版
ROIC

=

$$\frac{\text{NOPAT (営業利益 + 特別損益)} \times (1 - \text{税率})}{\text{投下資本 (受取手形 + 売掛金 + 棚卸資産 + 固定資産 - 支払手形 - 買掛金)}}$$

セグメント別で管理できる事業資産（売上債権・債務、棚卸資産、固定資産）で算出

